

2026年度(令和8年度)
入学生適用

大学院
先進学際科学府
先進学際科学専攻

Graduate School of Advanced Interdisciplinary Science
Department of Advanced Interdisciplinary Science

履修案内

Course Guide 2026

東京農工大学

Tokyo University of Agriculture and Technology

目次

1	事務問い合わせ先	1
2	先進学際科学府概説	1
2-1	先進学際科学府の使命	1
2-2	養成する人材像	1
2-3	学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	2
2-4	専攻内のコースについて	3
2-5	授業時間	4
2-6	ターム制	4
2-7	科目名のⅠとⅡについて	4
2-8	授業時間割・シラバス	5
2-9	履修登録の注意	5
2-10	SIRIUS・学修支援システム（LMS）について	6
3	履修方法（履修登録）	7
4	修了要件	9
4-1	成績評価基準	9
4-2	先進学際科学専攻 修士課程 【修了に必要な最低修得単位数】	9
4-3	他の大学院及び本学の他の学府等の授業科目の修了要件算入について	10
5	先進学際科学専攻 教育課程表	12
6	科目について	14
6-1	先進学際科学専攻 修士課程 授業科目区分について	14
6-2	先進学際科学専攻 修士課程 科目の履修について	14
7	教育職員免許状の取得について	30
8	大学院先進学際科学府・先進学際科学専攻・各コース担当教員	31
9	キャンパス配置図	32

1 事務問い合わせ先

東京農工大学

小金井地区学生支援室学務係（管理棟1階）

TEL：042-388-7173

E-mail：basejimu@cc.tuat.ac.jp

小金井地区学生支援室（府中分室）

TEL：042-367-5578

E-mail：basejimu@cc.tuat.ac.jp

問い合わせのEメールの始めには、

「学籍番号：25●●●●●●●●、□□研究室、△△△△△△△△です。」

↑ 指導教員名 ↑ 学生名

と書いていただきますと大変助かりますので、お手数ですがよろしくお願ひします。

It would be very helpful if you could start your inquiry email with the following:

"Student ID: 25●●●●●●●●, □□ Laboratory, △△△△△△△△."

↑ Name of supervisor ↑ Name of student

教員の問い合わせ先・居室は、31 ページにあります。

2 先進学際科学府概説

2-1 先進学際科学府の使命

東京農工大学は、現代的な新しい社会課題に対して、計測科学、計算科学、データ科学を三位一体として連携・融合し、AI・数理・データサイエンス手法を活用し解決し、新しい知の創造へと導くことのできるグローバル高度職業人材を育てていく使命がある。そこで、本学では、令和7年4月に、「先進学際科学府 先進学際科学専攻」（修士課程）を設置し、本学の強みである「食料・環境、資源・エネルギー、ライフサイエンス（健康・福祉）分野の教育研究力」に「情報・デジタル及びAI・数理・データサイエンスに関する教育研究力」を結集することにより農学・工学間の協働の視点を持ち、社会課題を解決するために分野横断的な新分野を開拓することで次世代の情報・デジタル未来社会の創生に取り組めるグローバル高度職業人材を養成する。

2-2 養成する人材像

東京農工大学は、大学院課程において、農学、工学及び融合領域における学術の理論及び応用を教授、研究し、その深奥を究めて科学技術の高度化及び学際化に対応し、独創性と実行力を備え、高度の専門能力、確かな研究能力及び教育能力を持つ職業人、研究者又は教育者の育成を行っている。東京農工大学では、本学の理念と学府・専攻の教育目的に応じて、高度で専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を有し、最新の科学技術の展開に関心を持ち、実践的に行動する意欲を持った学生を国内外から広く受け入れている。先進学際科学府は、上記関心・意欲の高い学生を受け入れ教育することで、以下に挙げる人材の育成を目的としている。

- ・持続可能で安心安全な社会の発展のため、自身の専門分野に特化した知識や技術のみならず、複数の学問分野に関する知識や視点を理解し、その方法論を習得し、研究や実践の場で適切に応用でき

る者

- ・農学又は工学を基盤とした高い専門性を身に付け、最新の情報・デジタル技術に関する知識やAI・数理・データサイエンス手法を習得し、これらを適切に利用しながら社会課題解決や次世代未来社会創生に挑める者
- ・地球規模の課題や現代社会の複雑な問題に関心を持ち、自ら課題を設定し、その解決のための交渉力、思考力、協働学習能力を身に付けている者
- ・日本国内のみならず国際社会において、自身の専門分野でのコミュニティに加えて、他分野でのコミュニティにて、社会や産業界における国際的なニーズの潮流を理解し、卓越したコミュニケーション力を持つ者

2-3 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

先進学際科学府先進学際科学専攻（以下「本専攻」という。）では、農学・工学の自然科学領域を基盤とする高度な専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の情報・デジタル技術やAI・数理・データサイエンス手法を理解し、それらを応用し国内外の複雑で多様化した諸課題を解決し、次世代の持続的未來社会創生に取り組む国際通用性を兼ね備える高度職業人材の育成を目的としている。この目的を踏まえて、本専攻は、修士課程の修了に当たっては、全学で定めた大学院のディプロマ・ポリシーの9項目に基づいた以下の能力を身に付けるとともに、所定の単位数を修得し、かつ、研究指導を受け、修士論文審査及び最終試験に合格した者に、その専門性に基づいて修士（農学）、修士（工学）、修士（応用情報学）、修士（学術）の学位を授与する。

〈ディプロマ・ポリシー〉

A) 学力・知識・思考力に関するポリシー

- ① 最先端の研究成果につながる農学又は工学に関する高度で専門的な知識や実験・計測技術を幅広く身に付けていること。
- ② 新しい価値を創造するため、情報・デジタル技術やAI・数理・データサイエンス手法を応用した最先端の研究や技術開発に必要な知識・技術を身に付けていること。

B) 関心・意欲・教養に関するポリシー

- ① 本学大学院で学位を授与されたものとして相応しい深い教養に加えて先端かつ深い専門性を身に付け、社会の発展に寄与できる意欲と多面的思考力を有していること。
- ② 職業人としての社会的使命を理解し、社会の一員として社会的責任を意識し、高い倫理観を身に付けていること。

C) 分析力・考察力・表現力に関するポリシー

- ① 研究成果を発表するための資料作成方法や実験データの整理法を習得し、論理的な考察に基づく実践的なプレゼンテーション能力を身に付けていること。
- ② グローバル人材として、相手の国籍・人種・性別を問わず的確な質疑応答や議論ができるコミュニケーション能力及びそのために必要な語学力を身に付けていること。

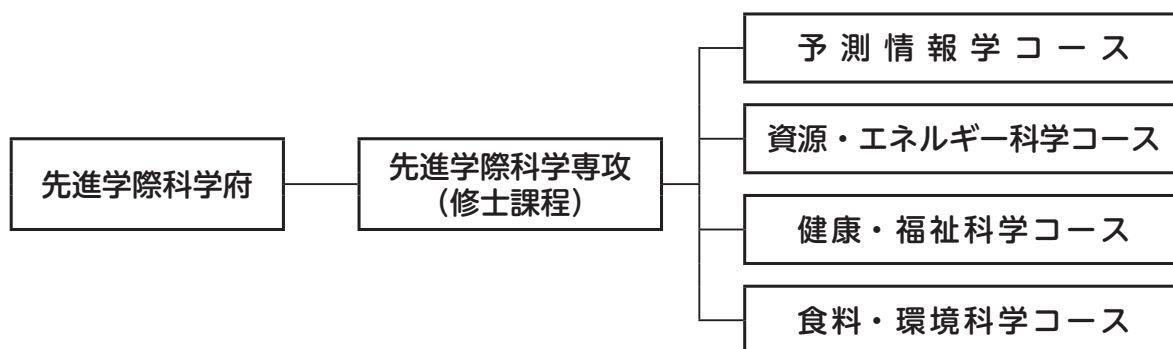
D) 課題探求力・企画力・実践力に関するポリシー

- ① 自らの専門分野において社会に求められる課題を設定する能力を有していること。
- ② 国内外の研究者や技術者などと協働し、必要に応じて他分野へ展開しながら課題解決へと導くための学際性や多面性と創造的リーダーシップ力を身に付けていること。

2-4 専攻内のコースについて

上記2-1～2-3の目的を達成するため先進学際科学府には、先進学際科学専攻を設置し、専攻内に4つコース（予測情報学コース、資源・エネルギー科学コース、健康・福祉科学コース、食料・環境科学コース）を設置している。

学際的な教育をするため、自身が所属するコース以外の専門科目を履修することは可能である。（自身の所属コースの専門科目しか履修できないわけではないが、9ページにルールがあるので確認すること。）



各コースの概要は次のとおりである。

予測情報学コース

革新的な計測・デジタル技術を用いた情報収集、最新の数理・データサイエンス・人工知能（AI）技術に基づいた高度な情報処理・解析・管理、および多様な情報に基づく予測技術の開発に取り組む。また、デジタル社会に不可欠な素養について、国内外の多様な組織と連携しながら実践的な教育・研究を実施することにより、食農・モビリティ・エネルギー・健康・環境などの社会的課題の解決や新しい知の創出を目指す。

資源・エネルギー科学コース

地球環境との調和や持続可能性を考慮した資源・エネルギー問題の解決に資する、化学、物理、機械、電気など広範な分野に深く関連する資源・エネルギー科学分野の先端技術および関連する専門知識を修得するとともに、数理・データサイエンス・AIを学び活用することで、新しい機能物質・材料、発電・蓄電デバイス、省エネ技術の開発とそれらのエネルギーシステムへの統合に向けて、データ駆動型による研究・開発を推進する能力を養成する。

健康・福祉科学コース

健康・福祉を支える人間・生体工学やヘルスケア技術の基盤となる、生体情報センシング、ロボティクス、エレクトロニクス、コンピューティング、認知科学等の先端技術および関連する専門知識を修得するとともに、数理・データサイエンス・AIの活用と多種多様な分野の研究者・専門家との協働を通じた機動的学際研究を展開し、全ての人々の健康的な生活と福祉の推進に繋がる新しい技術知の創出とグローバルヘルス課題解決への応用に取り組む。

食料・環境科学コース

持続可能な社会の構築に向け、環境低負荷な食料生産や資源循環に資する土壌学、植物学、昆虫学、環境化学および材料化学等の分野における先端技術および関連する専門知識の修得に加え、数理・データサイエンス・AIとの協働によって新たな分野を切り拓く能力を養成する。そして、深化させた専門知や分野横断的な総合知を基盤に、豊かな食と環境、延いては人々の生きがいを支える概念や技術を創出し、地域社会や国際社会に貢献する人材を育成する。

2-5 授業時間

授業時間は、次のとおりである。

授業時間は、実験・実習・演習など特定の場を除き、一区切 90 分間とする。

時 限	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
時 間	8:45~10:15	10:30~12:00	13:00~14:30	14:45~16:15	16:30~18:00

2-6 ターム制

「先進学際科学府先進学際専攻」では、学際的な教育を強化するため 4 ターム制を導入している。

ただし、原則的に学府及び学部に適用する学年暦を準用する。

1 学期（4～7月）を第 1 タームと第 2 タームに分け、

3 学期（10～1月）を第 1 タームと第 2 タームの期間に分け、

1 タームにつき、8 回の授業としている。

学 期	1 学期 第 1 ターム	1 学期 第 2 ターム	3 学期 第 1 ターム	3 学期 第 2 ターム
開講時期	4 月～5 月	6 月～7 月	10 月～11 月	12 月～1 月

2-7 科目名の I と II について

〇〇 I、〇〇 II など、科目名が同じでローマ数字で附番した科目がある。

例えば、「実践発表 I～IV」のように、1 回の学会発表を行ったごとに I から順番に単位を付与する。（実践発表 I、実践発表 II の場合は、学会発表を 1 回行くと I の単位、2 回目を行えば II の単位がつくという意味）

後述する専門科目については、I は基礎的内容、II は応用的・発展的な内容となっている。I の履修を前提として II の科目が用意されている。

I・II の授業のうち、II は応用的・発展的な内容のため、シラバスの履修要件をよく読み、授業内容をよく理解した上で履修すること。（例：農学部卒業の学生が、工学系の授業を履修する場合など）

2-8 授業時間割・シラバス

- ① 1学期及び3学期は、主に通常授業（原則毎週実施する曜日・時限が確定している授業）として学期ごとに週単位で構成される授業時間割に従って行われる。ただし、不定期開講や集中講義として開講される授業もある。
- ② どのような授業が開講されているかは、「シラバス」によって検索することができる。「シラバス」は、SIRIUS（「全学教育システム」以下、SIRIUSという）（P.6参照）から確認できる。

2-9 履修登録の注意

- ① 「通年」と「年度跨り（ねんどまたがり）」
同じ科目名でも「通年」：4月始まりの1年間の科目、
「年度跨り」：10月始まり翌年までの1年間の科目である。
「年度跨り」科目は、10月入学生向け科目なので、4月入学生は履修登録の際に「年度跨り」科目を登録しないよう注意すること。
ほとんどの科目は、1学期または3学期に設定されているが、後述する「先進学際科学セミナー」「先進学際○学特別実験」「先進学際○学特別研究」には、「通年」および「年度跨り」科目が用意されている。
- ② 他学府・他専攻の科目を履修する場合、その他の集中科目などの単位申請に必要な書式は別途新生オリエンテーション等で案内予定です。

1 SIRIUS（全学教育システム）、学修支援システム（LMS）

SIRIUSは、インターネットを通じて履修登録・成績照会などが可能なサービスです。SIRIUSで利用可能なサービスは次のとおりです。

- 履修登録
- 時間割確認
- シラバス検索
- 各種お知らせの確認
- 授業アンケート
- 成績照会
- 学籍情報照会
- 掲示板
- 各種申請

特に履修登録については原則SIRIUSを通じてのみ可能となっているため、以下のURLからアクセス方法・操作方法をあらかじめよく確認してください。

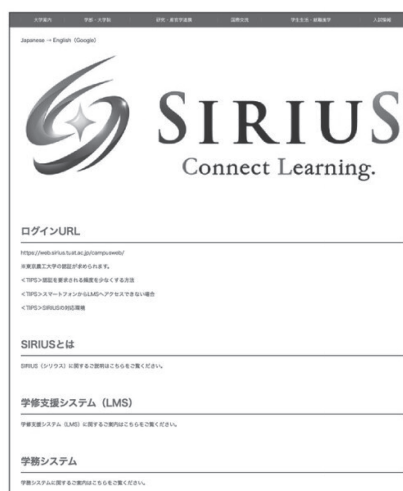
▶ アクセス方法

学生生活・就職進学>SIRIUS（全学教育システム）>

ログインURL

https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/sirius/index.html

※東京農工大学の認証が求められます。



初回ログインはTUAT ID・パスワードを使用してください。

パスワードは総合情報メディアセンターの管理する申請管理システム「Salut」にて変更可能です。

変更後のパスワードは各自で管理し、万が一忘れた場合は総合情報メディアセンター窓口（小金井：図書館1階・府中：新2号館2階）で再発行してください。

▶ パスワード変更

申請管理システム「Salut」 <https://salut.tuat.ac.jp/>

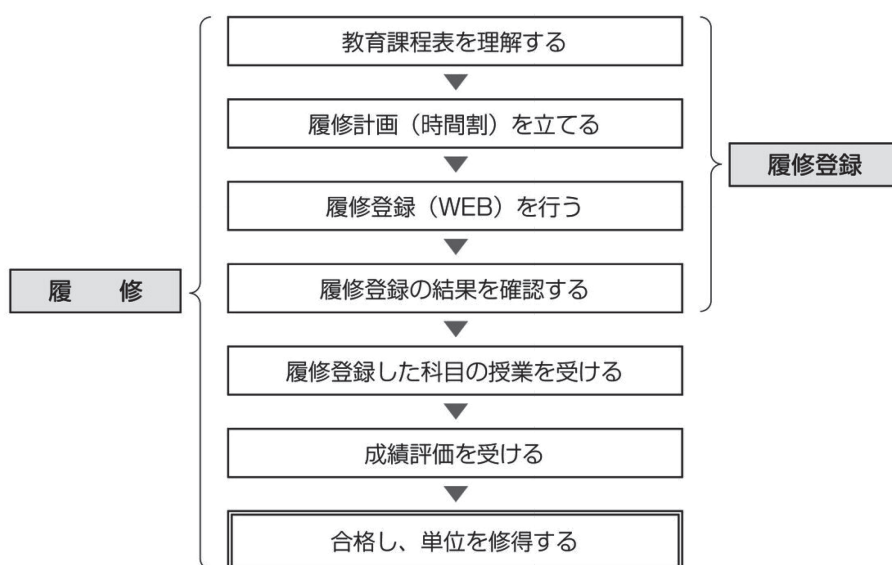


3 履修方法（履修登録）

1 基本的事項

① 履修とは

『履修』とは定められた教育課程を習い修めることで、『履修登録』から『単位修得』までの一連の流れのことをいいます。『履修登録』とは、先進学際科学府が定めるルールに従って、学生各自が履修を希望する科目を『履修登録』し、かつ履修登録確認修正期間内に本人が責任を持って『履修登録結果を確認』する手続きです。期間内に正しく履修登録していない科目は、授業に出席しても単位として認定されません。



② 履修登録の期間

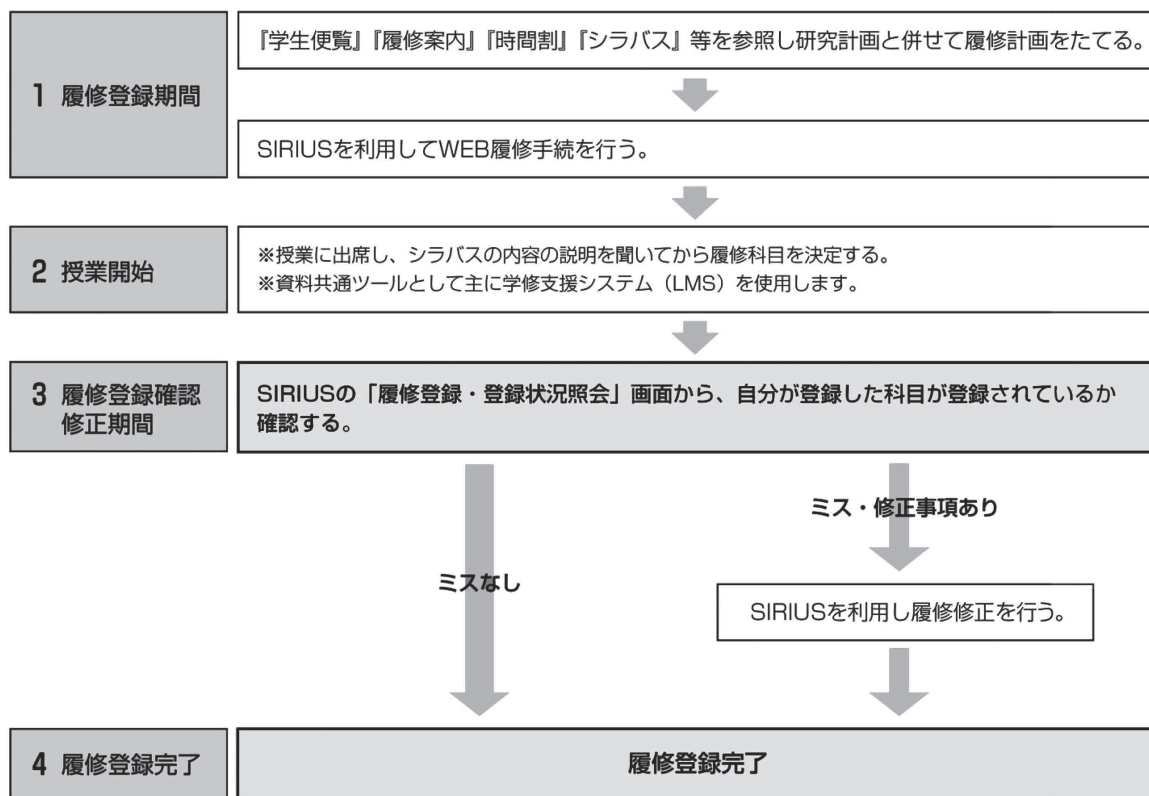
履修登録期間は下記のとおりです。具体的な期間はSIRIUS 掲示板、Eメールでお知らせしますので、必ず確認してください。

	登録学期	授業開講形態の区分	履修登録期間	履修登録確認修正期間
前期	1・2学期	・通常授業科目 ・通年科目 ・集中講義	1学期の授業開始日の 3日前から授業開始後 2週間以内	1学期の履修登録期間の 後3日間
後期	3・4学期	・通常授業科目 ・年度跨り科目 ・集中講義	3学期の授業開始日の 3日前から授業開始後 2週間以内	3学期の履修登録期間の 後3日間

※履修登録確認期間に**必ず**、登録内容に漏れや誤りがないかどうか、確認してください。登録ミスにより単位が認定されない事例がみられるのでチェックは重要です。

3 履修登録の手順

履修手続きは、次の手順に従って行ってください。



※WEB履修登録の方法については、本学ホームページ>SIRIUS（全学教育システム）を参照してください。また、卒業年次の後期など、履修登録の必要がない場合でも、WEB履修手続きは必要になります。

https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/sirius/index.html



4 他学府科目履修願

他学府科目については、指導教員および科目担当教員の許可があれば履修することができます。履修を希望する場合は、指導教員の許可を得る必要があります。

他学府科目はSIRIUSに表示されませんので、メール等で指導教員および科目担当教員に履修許可を得た上で、書式1を用いて申請してください。

【留意事項】

- 履修登録に際しては、学生便覧及び履修案内を熟読のうえ、指導教員から履修上の指導を受け、履修計画を立てること。
- 履修上の諸注意等については、EメールもしくはSIRIUS掲示板から周知することが多いので、留意すること。
- 旧BASEカリキュラムにあった「国立科学博物館 サイエンスコミュニケーター養成実践講座」は、先進学際科学府入学生からは対象外になり、履修できない。
- 本履修案内に記されている書式については、別途新入生オリエンテーション等で案内予定。

4 修了要件

4-1 成績評価基準

成績はS・A・B・C・Dで評価を区別する。S・A・B・Cは合格である。不合格及び途中放棄はDとなり、成績表には表示されるが、成績証明書には表示されない。

- S … 100～90点 到達基準を超えた成果を上げている。
- A … 89～80点 到達基準を十分達成している。
- B … 79～70点 到達基準を達成している。
- C … 69～60点 到達基準をおおむね達成している。
- D … 59～0点 到達基準に達していない。

成績評価の通知は、SIRIUSを通じて行われます。1学期（第1ターム・第2ターム）の成績開示は、9月中旬、3学期の成績開示は翌年の3月中旬です。通年科目の成績開示は、3月中旬、年度跨り科目の成績開示は、翌年の9月中旬です。具体的な期日は、SIRIUS 掲示板にて周知します。

合格と認定された成績は、再履修や成績の訂正はできません。

4-2 先進学際科学専攻 修士課程 【修了に必要な最低修得単位数】

科目区分		修了に必要な修得単位数
専攻共通科目	学際共通科目	自身が所属するコース以外の科目から少なくとも2単位
専攻共通科目	学際実践科目	必修科目4単位を含めて7単位以上
専攻共通科目	論文研究	必修科目4単位と★選択必修科目6単位を含めて10単位
専門科目	各コースの専門科目	選択科目4単位以上（Ⅰを2単位以上、Ⅱを2単位以上、このうち自身の所属するコースから1単位以上、履修すること）
自由科目	上段の4科目区分で履修した科目を上回る分を自由科目に算入できる。 もしくは、本学内の他の学府等（修士、博士前期課程または一貫制博士課程の1, 2年次）の専門分野科目を含む。ただし実践発表Ⅰ～Ⅳを除く論文研究は含めない。	7単位以上
合計		30単位以上

上記の合計単位を履修し、かつ修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

★選択必修科目（20ページ〈1-3〉論文研究にも関連した説明があるので参照すること）

先進学際○○学特別実験については、先進学際農学特別実験、先進学際工学特別実験、先進学際応用情報学特別実験のうちから1科目を履修すること。

先進学際○○学特別研究については、先進学際農学特別研究・先進学際工学特別研究・先進学際応用情報学特別研究のうちから1科目を履修すること。

4-3 他の大学院及び本学の他の学府等の授業科目の修了要件算入について

① 他の大学院の授業科目

他の大学院の授業科目を履修し、単位を修得した場合は、修士課程及び博士後期課程（設置構想中）を通して15単位を限度として、修了に必要な単位数の選択単位数に認定の上、これを算入することができる。

② 本学の他の学府等の授業科目

本学の他の学府等（生物システム応用科学府を含む）の授業科目を履修し、単位を修得した場合は、修士課程及び後期課程を通して15単位を限度として、修了に必要な単位数の選択単位数に算入することができる。

③ ①及び②を合算して20単位を限度として、修了に必要な単位数の選択単位数に算入することができる。

なお、本学の学部の授業科目を履修することができるが、当該履修により修得した単位は修了要件に算入しない。また、共同先進健康科学専攻の早稲田大学開講科目は履修できない。

5 先進学際科学専攻 教育課程表

先進学際科学専攻 教育課程表 Curriculum Table, Department of Advanced Interdisciplinary Science

科目区分 Subject Classification	授業科目	Subject Name	2026年度 開講予定		2027年度 開講予定		開講期間 Course Period	担当教員 Instructor
			1学期 1st quarter Term.1	2学期 2nd quarter Term.2	1学期 1st quarter Term.1	2学期 2nd quarter Term.2		
学際共通科目	予測情報学特論	Advanced Predictive Informatics	○		○		1・2①	岩見 IWAMI
	資源・エネルギー情報科学特論	Information Science on the System Analysis of Energy and Resources	○		○		1・2①	秋澤 AKISAWA
学際実践科目	健康・福祉情報科学特論	Information Sciences for Health and Welfare	○		○		1・2①	西館 NISHIDATE
	食料・環境情報科学特論	Advanced Informatics for Food and Environment	○		○		1・2①	庄司 SHOJI
	文献クリティカルレビュー	Paper Critical Reviews	○		○		1・2①	各指導教員
	リサーチプロポーザル	Research Proposal	○		○		1・2③	各指導教員
	実践情報・デジタル演習Ⅰ	Applied Informatics and Digital Technologies Practicum I	○		○		1・2①	山下 YAMASHITA 堀田 Hotta 山田 YAMADA
	実践情報・デジタル演習Ⅱ	Applied Informatics and Digital Technologies Practicum II	○		○		1・2②	堀田 Hotta 山田 YAMADA 山下 YAMASHITA
	学際共同研究実践Ⅰ	Interdisciplinary Research Collaboration I	○	○	○	○	1・2	各指導教員
	学際共同研究実践Ⅱ	Interdisciplinary Research Collaboration II	○	○	○	○	2	各指導教員
	学際研究展開Ⅰ	Interdisciplinary Research Deployment I	○	○	○	○	1・2	各指導教員
	学際研究展開Ⅱ	Interdisciplinary Research Deployment II	○	○	○	○	2	各指導教員
専攻共通科目 Interdisciplinary subjects	リサーチマネージメント	Research Management	○		○		1・2①	学務副委員長
	先進学際カンファレンスⅠ	Advanced Interdisciplinary Conference I	○	○	○	○	1・2	学務委員長
	先進学際カンファレンスⅡ	Advanced Interdisciplinary Conference II	○	○	○	○	2	学務委員長
	国内外実践実習	Internship	○	○	○	○	1・2	学務委員長
	先進学際特別講義Ⅰ	Special Lecture on Advanced Interdisciplinary Science I	○	○	○	○	1・2	非常勤講師/学務副委員長
	先進学際特別講義Ⅱ	Special Lecture on Advanced Interdisciplinary Science II	○	○	○	○	1・2	非常勤講師/学務副委員長
	国際先進学際特別講義	Special International Lecture on Advanced Interdisciplinary Science	○	○	○	○	1・2	各指導教員
	先進学際科学セミナー	Advanced Interdisciplinary Science Seminar	○	○	○	○	1・2	各指導教員
	先進学際農学特別実験	Advanced Interdisciplinary Experiment on Agriculture	○	○	○	○	1・2	各指導教員
	先進学際工学特別実験	Advanced Interdisciplinary Experiment on Engineering	○	○	○	○	1・2	各指導教員
	先進学際応用情報学特別実験	Advanced Interdisciplinary Experiment on Applied Informatics	○	○	○	○	1・2	各指導教員
	先進学際農学特別研究	Advanced Interdisciplinary Research on Agriculture	○	○	○	○	1・2	各指導教員
	先進学際工学特別研究	Advanced Interdisciplinary Research on Engineering	○	○	○	○	1・2	各指導教員
	先進学際応用情報学特別研究	Advanced Interdisciplinary Research on Applied Informatics	○	○	○	○	1・2	各指導教員
	実践発表Ⅰ	Practical Presentation I	○	○	○	○	1・2	各指導教員
実践発表Ⅱ	Practical Presentation II	○	○	○	○	1・2	各指導教員	
実践発表Ⅲ	Practical Presentation III	○	○	○	○	1・2	各指導教員	
実践発表Ⅳ	Practical Presentation IV	○	○	○	○	1・2	各指導教員	
予測情報学Ⅰ～Ⅳ Major Courses	応用計測情報学特論Ⅰ	Applied Measurement Informatics I	○		○		1・2①	岩見 IWAMI 大島 OSHIMA
	応用計測情報学特論Ⅱ	Applied Measurement Informatics II	○		○		1・2②	大島 OSHIMA 岩見 IWAMI
	生命環境情報学特論Ⅰ	Advanced Life and Environmental Informatics I	○		○		1・2③	篠原 SHINOHARA 福谷 FUKUTANI
	生命環境情報学特論Ⅱ	Advanced Life and Environmental Informatics II	○		○		1・2④	福谷 FUKUTANI 篠原 SHINOHARA
	人工知能応用特論Ⅰ	Advanced Artificial Intelligence Applications I	○		○		1・2③	山田 YAMADA
	人工知能応用特論Ⅱ	Advanced Artificial Intelligence Applications II	○		○		1・2④	堀田 Hotta
	数理生物情報学特論Ⅰ	Advanced Mathematical and Information Biology I	○		○		1・2③	小川 KOYAMA 鈴木 SUZUKI(Y)
	数理生物情報学特論Ⅱ	Advanced Mathematical and Information Biology II	○		○		1・2④	鈴木 SUZUKI(Y) 小川 KOYAMA
	応用環境計測予測学特論Ⅰ	Advanced Application of the Environmental Measurement and Prediction I	○		○		1③	瀬戸 SETO
	応用環境計測予測学特論Ⅱ	Advanced Application of the Environmental Measurement and Prediction II	○		○		2③	中嶋 NAKASHIMA
	農業環境情報学特論Ⅰ	Advanced Agro-Environmental Informatics I	○		○		1④	瀬戸 SETO
	農業環境情報学特論Ⅱ	Advanced Agro-Environmental Informatics II	○		○		2④	中嶋 NAKASHIMA
				○		○	1・2①	山下 YAMASHITA 浅田 ASADA
				○		○	1・2②	浅田 ASADA 山下 YAMASHITA

科目区分 Subject Classification	授業科目 Subject Name	単位数 Credits	2026年度 開講予定		2027年度 開講予定		開講期間 Course Period	担当教員 Instructor
			1st Term	2nd Term	1st Term	2nd Term		
Natural Resources and Energy Science Course 資源・エネルギー科学コース	物質機能設計特論Ⅰ	1				○	2④	荻野 OGINO
	物質機能設計特論Ⅱ	1				○	2④	荻野 OGINO
	物質機能分析特論Ⅰ	1				○	2③	レンゴロ LENGGORO
	物質機能分析特論Ⅱ	1				○	2④	レンゴロ LENGGORO
	物質機能制御特論Ⅰ	1				○	1③	花崎 HANASAKI
	物質機能制御特論Ⅱ	1				○	1④	花崎 HANASAKI
	エネルギー材料物性特論Ⅰ	1				○	2①	村上 MURAKAMI
	エネルギー材料物性特論Ⅱ	1				○	2②	村上 MURAKAMI
	エネルギー材料設計特論Ⅰ	1	○				1①	高永 TOMINAGA
	エネルギー材料設計特論Ⅱ	1		○			1②	高永 TOMINAGA
	エネルギー変換技術特論Ⅰ	1					2④	銭 QIAN
	エネルギー変換技術特論Ⅱ	1					2③	銭 QIAN
	エネルギーシステム工学特論Ⅰ	1	○				1①	池上 IKEGAMI
	エネルギーシステム工学特論Ⅱ	1		○			1②	池上 IKEGAMI
	健康福祉メカニクス特論Ⅰ	1	○				1①	水内 MIZUUUCHI
健康福祉メカニクス特論Ⅱ	1		○			1②	水内 MIZUUUCHI	
健康福祉センシング特論Ⅰ	1					2③	石田 ISHIDA	
健康福祉センシング特論Ⅱ	1					2④	石田 ISHIDA	
健康福祉バイオエレクトロニクス特論Ⅰ	1					2③	田畑 TABATA	
健康福祉バイオエレクトロニクス特論Ⅱ	1					2④	田畑 TABATA	
健康福祉コンピューティング特論Ⅰ	1					1③	藤波 FUJINAMI	
健康福祉コンピューティング特論Ⅱ	1					1④	藤波 FUJINAMI	
健康福祉知覚認知処理特論Ⅰ	1					2①	古宮 KOMIYA	
健康福祉知覚認知処理特論Ⅱ	1					2②	古宮 KOMIYA	
健康福祉電気電子工学特論Ⅰ	1	○				1①	有馬 ARIMA	
健康福祉電気電子工学特論Ⅱ	1		○			1②	有馬 ARIMA	
健康福祉システム工学特論Ⅰ	1					1③	瀧 SHEN	
健康福祉システム工学特論Ⅱ	1					1④	瀧 SHEN	
食料資源機能創製特論Ⅰ	1					1③	梶田 KAJITA	
食料資源機能創製特論Ⅱ	1					1④	梶田 KAJITA	
生物環境応答特論Ⅰ	1	○				1①	梅澤 UMEZAWA	
生物環境応答特論Ⅱ	1		○			1②	梅澤 UMEZAWA	
食料生産システム特論Ⅰ	1					2①	鈴木 (文) SUZUKI (T)	
食料生産システム特論Ⅱ	1					2②	鈴木 (文) SUZUKI (T)	
食料資源安全科学特論Ⅰ	1					2③	豊田 TOYODA	
食料資源安全科学特論Ⅱ	1					2④	豊田 TOYODA	
地盤環境学特論Ⅰ	1					1③	橋本 HASHIMOTO	
地盤環境学特論Ⅱ	1					1④	橋本 HASHIMOTO	
環境物質循環特論Ⅰ	1					1③	中田 NAKATA	
環境物質循環特論Ⅱ	1					1④	中田 NAKATA	
環境物質分析特論Ⅰ	1					2①	赤井 AKAI	
環境物質分析特論Ⅱ	1					2②	赤井 AKAI	

◎印の授業科目は、必修とする。●印の授業科目は、選択必修とする。Courses marked with ◎ are compulsory. Courses marked with ● are compulsory electives.

備考 Note

履修期間にある数字は「年度」、○に囲まれた数字は「ターム」を示す。1 = 2026年度 2 = 2027年度 ①1学期第1ターム、②1学期第2ターム、③3学期第1ターム、④3学期第2ターム

Example: 1① → 1st semester, 1st term of 2026, 2④ → 3rd semester, 2nd term of 2027

6 科目について

6-1 先進学際科学専攻 修士課程 授業科目区分について

修士課程の教育課程の科目区分は、次のとおりの区分に分かれている。

〈1〉専攻共通科目

〈1-1〉学際共通科目 〈1-2〉学際実践科目 〈1-3〉論文研究

〈2〉専門科目

〈2-1〉予測情報学コース 〈2-2〉資源・エネルギー科学コース

〈2-3〉健康・福祉科学コース 〈2-4〉食料・環境科学コース

それぞれの区分の各科目の履修については、次の6-2とおりである。各科目の内容については、SIRIUSにある「シラバス」を参照すること。

科目名の先頭にある ○は必修科目、●は選択必修科目、○は選択科目を示す。

6-2 先進学際科学専攻 修士課程 科目の履修について

〈1〉専攻共通科目

〈1-1〉学際共通科目

学際共通科目は、先進学際科学府での学修の入り口となる科目である。学生自身の所属するコース以外の科目を履修することで、本学府が対象とする社会的課題を俯瞰的に認識し、学際的な視野を養う。本科目では、各コースにおける基礎研究内容の学習、地球規模の課題や現代社会の複雑な問題の認識を通じて、自ら課題を設定し、その解決のための交渉力、思考力、協働学習能力を身に付けることを目的とする。

- ・自身の所属するコース以外の科目を「学際共通科目」から少なくとも2単位履修すること。

○ 予測情報学特論／Advanced Predictive Informatics

- ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
- ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- ・予測情報学に関する現状と課題について、俯瞰的内容を講義する。

○ 資源・エネルギー情報科学特論／Information Science on the System Analysis of Energy and Resources

- ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
- ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- ・資源・エネルギー情報科学に関する現状と課題について、俯瞰的内容を講義する。

○ 健康・福祉情報科学特論／Information Sciences for Health and Welfare

- ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。

- ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- ・健康・福祉情報科学に関する現状と課題について、俯瞰的内容を講義する。

○ 食料・環境情報科学特論／Advanced Informatics for Food and Environment

- ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
- ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- ・食料・環境情報科学に関する現状と課題について、俯瞰的内容を講義する。

〈1-2〉学際実践科目

- 「学際実践科目」から必修科目4単位（文献クリティカルレビュー・リサーチプロポーザル・リサーチマネジメント・先進学際カンファレンス）を含めて7単位以上履修すること。

◎ 文献クリティカルレビュー／Paper Critical Reviews

学生が自身の研究の文献調査を行う。自身が行う研究の背景や重要性、意義を理解するために、関連する既往研究成果（原著論文、学会プロシーディング、特許など）を幅広く調査する。調査結果を主指導教員に説明し、質疑応答や討論を通じて自身の研究についての理解を深める。各研究室で行う。パワーポイント（書式任意）を用いて作成する。

- ・1年次1学期第1タームの履修を想定しており、レビュー結果を1年次3学期第1タームのリサーチプロポーザルにつなげる。
- ・研究室の指導教員の確認を得たうえで、学生が自分でSIRIUS登録を行う。
- ・各指導教員が、所属研究室の学生にSIRIUSで成績を登録する。

◎ リサーチプロポーザル／Research Proposal

修士論文研究を効果的に進めるために、研究分野の国内外の状況や課題等の背景、研究計画の着想に至った経緯、研究目的、研究方法、研究内容、研究遂行力の自己分析等を所定の書式（書式2）を用いて作成する。書式作成時に実験結果や研究成果があれば書式に加えてもよい。各研究室で行う。12月末までに主指導教員に提出する。

- ・1年次1学期の文献クリティカルレビューの履修を踏まえ、1年次3学期での履修を想定している。この科目では、書式2を用いて研究プロポーザルを作成し、自身の研究を行う意義を考える。研究開始時の研究計画をもとに、研究や調査などの進捗も含めた修士論文研究に相当する研究プロポーザルを作成する。博士後期課程に進学予定の者は、博士後期課程の期間も含めた研究計画を作成する。
- ・この作業を通じて得た意義、計画を、後述する先進学際カンファレンスIでの発表につなげる。
- ・研究室の指導教員の確認を得たうえで、学生が自分でSIRIUS登録を行う。
- ・各指導教員が、所属研究室の学生にSIRIUSで成績を登録する。

○ 実践情報・デジタル演習 I／Applied Informatics and Digital Technologies Practicum I

- ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
- ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

○ 実践情報・デジタル演習 II／Applied Informatics and Digital Technologies Practicum II

- ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
- ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

○ 学際共同研究実践 I / Interdisciplinary Research Collaboration I

学内外の研究室や研究機関で共同研究を実施した場合に単位を付与する。学内外の異分野の研究組織との学際的な共同研究への参画を促進するための科目である。

- ・主に修士課程 1 年次の履修を想定しているが、共同研究を開始した学期に単位をつけるので、必ずしも修士課程 1 年次に履修になるとは限らない。
- ・共同研究に単位をつける。
- ・共同研究先は、本学内（府中・小金井を問わない）の他研究室、国内外の他大学の研究室、民間企業（企業の研究所を含む）、国・公共団体の研究所である。共同研究先は、指導教員の助言を得て学生が自身で探すが、原則として望ましい。
- ・共同研究の期間：20 時間以上（研究、実験、データ整理の時間）とする。後述の成果報告書、成果をまとめたスライドの作成の時間は含まない。
- ・学生は、SIRIUS 登録不要。
- ・共同研究終了後、学生は 2 週間以内に A4 サイズ 1 ページの（書式 3）学際共同研究実践 成果報告書（共同研究先の主担当からの記述が必要）、成果をまとめたパワーポイント等のスライド（4 ページ以上）を basejimu@cc.tuat.ac.jp に提出すること。
- ・これら提出物を事務から指導教員に送り、指導教員が審査のうえ、成績を事務に報告し、事務が SIRIUS に履修登録と単位を入力する。

○ 学際共同研究実践 II / Interdisciplinary Research Collaboration II

学内外の研究室や研究機関で共同研究を実施した場合に単位を付与する。学内外の異分野の研究組織との学際的な共同研究への参画を促進するための科目である。

- ・主に修士課程 2 年次の履修を想定している。
- ・学際共同研究実践 I を履修した者が、学際共同研究実践 II の履修をできる。
- ・共同研究に単位をつける。
- ・共同研究先は、本学内（府中・小金井を問わない）の他研究室、国内外の他大学の研究室、民間企業（企業の研究所を含む）、国・公共団体の研究所である。共同研究先は、指導教員の助言を得て学生が自身で探すが、原則として望ましい。
- ・共同研究の期間：20 時間以上（研究、実験、データ整理の時間）とする。後述の成果報告書、成果をまとめたスライドの作成の時間は含まない。
- ・学生は、SIRIUS 登録不要。
- ・共同研究終了後、学生は 2 週間以内に A4 サイズ 1 ページの（書式 3）学際共同研究実践 成果報告書（共同研究先の主担当の記述を含む）、成果をまとめたパワーポイント等のスライド（4 ページ以上）を basejimu@cc.tuat.ac.jp に提出すること。
- ・これら提出物を事務から指導教員に送り、指導教員が審査のうえ、成績を事務に報告し、事務が SIRIUS に履修登録と単位を入力する。

○ 学際研究展開 I / Interdisciplinary Research Deployment I

副指導教員の研究室のゼミに参加して研究発表や議論を行うことで、より学際的な研究の促進につなげ、学内共同研究へと発展させる能力を身に付ける。

- ・各学生の副指導教員が誰かは、31 ページの表を参照すること。指導教員ごとに副指導教員が決まっている。
- ・修士課程 1 年次の履修を想定しているが、副指導教員の研究室で最初に参加したゼミの回が属する学期に単位をつけるので、必ずしも修士課程 1 年次になるとは限らない。
- ・学生は、主指導教員を通じて副指導教員と本科目の期間、日時、場所を調整のうえ、副指導教員の研究室のゼミに参加する。

- ・副指導教員の研究室のゼミに参加したことに単位をつける。
- ・単位の付与には、最低4回のゼミ参加（内1回は自身の研究発表）を要する。
- ・副指導教員は、後述する学生研究展開Ⅱの副指導教員と同一人物で差し支えない。学際研究展開ⅠとⅡの区分は、副指導教員のゼミへの参加4回と後述する報告書の提出をもってⅠとしての単位の対象とし、5回目～8回目の参加と報告書の提出を持ってⅡの単位付与の対象とする。
- ・学生は、SIRIUS登録不要。
- ・学生は、副指導教員のゼミに参加終了後、2週間以内に副指導教員からの所見（発表の有無・回数・議論への参加の程度）を記入した（書式4）学際研究展開 報告書（A4用紙1ページ）を basejimu@cc.tuat.ac.jp に提出する。
- ・これら提出物を事務から指導教員に送り、指導教員が審査のうえ、成績を事務に報告し、事務がSIRIUSに履修登録と単位を入力する。
- ・選択する研究室は原則副指導教員とするが、主指導教員の承認があれば副指導教員以外の学内の研究室を選択することができる。

○ 学際研究展開Ⅱ / Interdisciplinary Research Deployment II

副指導教員の研究室のゼミに参加して研究発表や議論を行うことで、より学際的な研究の促進につなげ、学内共同研究へと発展させる能力を身に付ける。

- ・各学生の副指導教員が誰かは、31ページの表を参照すること。指導教員ごとに副指導教員が決まっている。
- ・学際研究展開Ⅰを履修した者がⅡを履修できる。
- ・修士課程2年次の履修を想定しているが、副指導教員の研究室で最初に参加したゼミの回が属する学期に単位をつけるので、必ずしも修士課程2年次になるとは限らない。
- ・学生は、主指導教員を通じて副指導教員と本科目の期間、日時、場所を調整のうえ、副指導教員の研究室のゼミに参加する。
- ・副指導教員の研究室のゼミに参加したことに単位をつける。
- ・単位の付与には、最低4回のゼミ参加（内1回は自身の研究発表）を要する。
- ・副指導教員は、前述した学生研究展開Ⅰの副指導教員と同一人物で差し支えない。学際研究展開ⅠとⅡの区分は、副指導教員のゼミへの参加4回と後述する報告書の提出をもってⅠとしての単位の対象とし、5回目～8回目の参加と報告書の提出を持ってⅡの単位付与の対象とする。
- ・学生は、SIRIUS登録不要。
- ・学生は、副指導教員のゼミに参加終了後、2週間以内に副指導教員からの所見（発表の有無・回数・議論への参加の程度）を記入した（書式4）学際研究展開 報告書（A4用紙1ページ）を basejimu@cc.tuat.ac.jp に提出する。
- ・これら提出物を事務から指導教員に送り、指導教員が審査のうえ、成績を事務に報告し、事務がSIRIUSに履修登録と単位を入力する。
- ・選択する研究室は原則副指導教員とするが、主指導教員の承認があれば副指導教員以外の学内の研究室を選択することができる。

○ リサーチマネジメント / Research Management

研究を実施するために必要不可欠な安全・危機管理の知識を得るため、幅広い分野の研究倫理、リテラシー、プレゼンテーション技法について修得する。先進学際科学府での研究に係る機械・生物・予測情報・化学など各分野に精通した教員が、各実験での危険行為や、問題が発生した場合の対処法などのリスク管理手法の習得を目的とした講義を行う。

- ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。必修である。
- ・旧BASEカリキュラムの基礎技術演習にあたる。

- ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績登録をする。
- ・授業担当教員は、学務副委員長である。

◎ 先進学際カンファレンス I / Advanced Interdisciplinary Conference I

コース・研究室・研究分野をシャッフルしたグループに分けて相互に発表し、質疑を行うミニカンファレンスを実施することで、専攻に所属する他の研究分野に対する理解を深めると同時に自身の研究との関連について考察し、学際的な視点を涵養する。

- ・修士課程1年次の履修を想定している。
- ・10月ころ一斉Eメールにて案内を送付するので、その指示に従うこと。必修である。
- ・前述の文献クリティカルレビュー、リサーチプロポーザルの内容を踏まえて、ミニカンファレンスにて発表を行ったことに単位を付与する。
- ・学生は、SIRIUSでの履修登録は不要。
- ・1～2月に、学生は、コース等をシャッフルした班（4～5班程度）に集合して、各学生が発表会を行う。
- ・先進学際カンファレンスIIと合同で行う。
- ・各コースの本科目の担当教員が成績をつけ事務に報告し、事務がSIRIUSに履修登録と単位の入力を行う。

○ 先進学際カンファレンス II / Advanced Interdisciplinary Conference II

先進学際カンファレンス I の基礎的な内容を踏まえて、コース・研究室・研究分野・学年をシャッフルしたグループに分けて相互に発表し質疑を行うミニカンファレンスを実施することで、専攻に所属する他の学生の研究分野に対する理解を深めると同時に自分の研究との関連について考察し、実践的で学際的な視点を涵養する。

- ・修士課程2年次の履修を想定し、応用的・発展的な研究内容について講義する。
- ・10月ころ一斉メールにて案内を送付するので、その指示に従うこと。ただし、必修ではない。
- ・前述の文献クリティカルレビュー、リサーチプロポーザルの内容を踏まえて、ミニカンファレンスにて発表を行ったことに単位を付与する。
- ・1～2月に、学生は、コース等をシャッフルした班（4～5班程度）に集合して、各学生が発表会を行う。修士2年次学生には、修士論文作成等で多忙の時期の開講となるが、より意欲的な者の履修を歓迎する。なお、先進学際カンファレンス I と違い、本科目は必修ではない。
- ・先進学際カンファレンス I と合同で行う。
- ・SIRIUSでの登録は不要。
- ・科目の担当教員が成績をつけ事務に報告し、事務がSIRIUSに履修登録と単位の入力を行う。

○ 国内外実践実習 / Internship

企業でのインターンシップを経験した者で所定の条件を満たす者に対して内容を審査し単位を付与する。

- ・旧BASEカリキュラムのアドバンスⅢ～Ⅶの位置づけである。
- ・企業等でのインターンシップへの参加に単位をつける。
- ・インターンシップ先は、国内外の企業（企業の研究所を含む）、国・公共団体の研究所、民間企業の研究所。インターンシップ先は、学生が自身で探すこと。
- ・週40時間以上（昼休憩時間含む）のインターンシップに1単位をつける。同じ企業等で40時間以上のインターンシップをしたとしても1単位以上はつかない。（例：同じ企業で、80時間のインターンシップをしたとしても2単位付与されるわけではない）
- ・インターンシップが単位になるのは、1回だけである。
- ・学生は、SIRIUS登録不要。

- ・学生は、インターンシップに参加する2週間前までに、(書式5) 国内外実践実習計画届とインターンシップ参加を許可する旨の記載のある指導教員からのEメールPDF(書式自由)を basejimu@cc.tuat.ac.jp に提出すること。
- ・学生は、インターンシップ参加終了後2週間以内に、(書式6) 国内外実践実習報告書(A4用紙1ページ)を basejimu@cc.tuat.ac.jp に提出すること。
- ・これら計画届と報告書を学務委員会が審査し、単位をつける。その結果を事務がSIRIUSにて履修登録と単位の入力を行う。SIRIUS上の授業担当教員は、学務副委員長となる。
- ・なお、国内外実践実習においては、成績評価は行われず、「認定」単位のみとなる。(S、A、B、Cは付与されないが、修了に必要な単位に含めることができる。

○ 先進学際特別講義 I / Special Lecture on Advanced Interdisciplinary Science I

最新の研究分野では従来の常識を覆すような新たな知見が次々と見出されている。これらの事例について国内・海外の研究事例を紹介し、あわせて学際的な研究事例も紹介する講義である。

- ・学外の講師によるオムニバス授業である。
- ・先進学際特別講義 I・IIで、各コースの内容にあたる授業を2回×4コース分開催するのでI・IIあわせて計8回の授業を予定している。授業3回を履修・合格すると、先進学際特別講義 Iとして1単位が得られる。授業6回を履修・合格すると先進学際特別講義 IおよびIIとして2単位が得られる。
- ・旧BASEのアドバンスト Iにあたる位置づけである。
- ・SIRIUSでの登録は不要。
- ・各回の講師が、課題を出すので学生は、期日までに課題を提出すること。
- ・出席状況と提出された課題内容をもとに授業担当教員が審査し、成績をつけ、事務に報告する。事務は、報告された成績をSIRIUSに入力する。
- ・SIRIUS上の授業担当教員は、学務副委員長である。

○ 先進学際特別講義 II / Special Lecture on Advanced Interdisciplinary Science II

最新の研究分野では従来の常識を覆すような新たな知見が次々と見出されている。これらの事例について国内・海外の研究事例を紹介し、あわせて学際的な研究事例も紹介する講義である。

- ・学外の講師によるオムニバス授業である。
- ・先進学際特別講義 I・IIで、各コースの内容にあたる授業を2回×4コース分開催するのでI・IIあわせて計8回の授業を予定している。授業3回を履修・合格すると、先進学際特別講義 Iとして1単位が得られる。授業6回を履修・合格すると先進学際特別講義 IおよびIIとして2単位が得られる。
- ・旧BASEのアドバンスト IIにあたる位置づけである。
- ・SIRIUSでの登録は不要。
- ・各回の講師が、課題を出すので学生は、期日までに課題を提出すること。
- ・出席状況と提出された課題内容をもとに授業担当教員が審査し、成績をつけ、事務に報告する。事務は、報告された成績をSIRIUSに入力する。
- ・SIRIUS上の授業担当教員は、学務副委員長である。

○ 国際先進学際特別講義 / Special International Lecture on Advanced Interdisciplinary Science

東京農工大学大学院グローバルイノベーション研究院(以下、GIR)で招聘された外国人研究者による最先端研究に関する公開セミナーを聴講し、レポート等の課題を実施した場合に単位を付与する。

- ・初回の講義があった学期に単位をつける。
- ・学生は、SIRIUS登録不要。

- ・GIRで開催された公開セミナーに8回以上参加した者にこの科目の単位をつける。
- ・学生は、公開セミナー1回につき、講義の内容のレポート（A4用紙で書式自由。各回につき1ページ、各回レポート冒頭に①各回の講義タイトル、②講義した教員名、③開催年月日、開催時間〇時〇分～〇時〇分、④学籍番号、⑤学生氏名を記入すること）を作成し、8回目の公開セミナーから2週間以内に8回分をまとめて（計8ページ）、basejimu@cc.tuat.ac.jp に提出する。電子ファイル名は、「学籍番号_氏名_国際先進学際特別講義レポート」とすること。
- ・これを事務が指導教員に送付し、指導教員が審査し単位をつけ、事務に報告する。これを受けて事務がSIRIUSに履修登録と単位の入力を行う。

〈1-3〉論文研究

- 「論文研究科目」から必修科目4単位と選択必修科目6単位を含めて10単位以上を履修すること。
- 先進学際科学セミナーは必修である。
- 先進学際〇〇特別実験（3科目・選択必修）からいずれか1科目（2単位）を履修すること。
- 先進学際〇〇特別研究（3科目・選択必修）からいずれか1科目（4単位）を履修すること。
例：先進学際科学セミナー（必修4単位）、先進学際農学特別実験（選択必修2単位）、先進学際農学特別研究（選択必修4単位）、実践発表Ⅰ（選択必修1単位）、実践発表Ⅱ（選択必修1単位）を履修すると、計12単位になる。
- 先進学際〇学特別実験、先進学際〇学特別研究の〇学の選択は、履修登録前に学生自身が指導教員と相談のうえ学生自身の研究内容にあわせ取得を希望する学位によって科目名を選択すること。
例：農学の学位を希望する者であれば、先進学際農学特別実験、先進学際農学特別研究を履修する。
- なお、研究の進捗によっては、当初予定していた学位と違う学位に変更となることもありうる。そのため、例えば当初は農学の学位を希望し先進学際農学特別実験および先進学際農学特別研究を履修していた者でも研究の進捗によっては、学術の学位を申請することは差支えない。つまり、先進学際農学特別実験および先進学際農学特別研究を履修したからと言って、科目名に縛られて取得学位が必ず農学となるわけではないということである。
- 先進学際科学〇〇特別実験と先進学際科学〇〇特別研究について
例えば、先進学際科学【農学】特別実験を履修する場合は、先進学際科学【農学】特別研究を履修するというように、〇〇特別実験を履修する場合は、先進学際科学〇〇特別研究の〇〇は同じものを選択すること。
つまり、先進学際科学【農学】特別実験を履修し、先進学際科学【応用情報学】特別研究を履修することはできない。

科目名の先頭にある ○は必修科目、●は選択必修科目、○は選択科目を示す。

◎ 先進学際科学セミナー／Advanced Interdisciplinary Science Seminar

- ・研究室科目（論文科目）
- ・学生が研究室の指導教員の確認を得たうえで、学生が自分でSIRIUS登録を行う。
- ・単位を付与する年次は、研究室によって違うので、何年次に履修すべきかを履修登録前に指導教員に確認すること。
- ・各指導教員が、所属研究室の学生にSIRIUSで成績を登録する。

学生は、自身の研究内容にあわせ、指導教員と相談のうえ、次の3科目（先進学際農学特別実験・先進学際工学特別実験・先進学際応用情報学特別実験）からいずれか1科目（2単位）を履修すること。

● 先進学際農学特別実験 / Advanced Interdisciplinary Experiment on Agriculture

- ・ 研究室科目（論文科目）
- ・ 学生が研究室の指導教員の確認を得たうえで、学生が自分でSIRIUS登録を行う。
- ・ 単位を付与する年次は、研究室によって違うので、何年次に履修すべきかを履修登録前に指導教員に確認すること。
- ・ 各指導教員が、所属研究室の学生にSIRIUSで成績を登録する。

● 先進学際工学特別実験 / Advanced Interdisciplinary Experiment on Engineering

- ・ 研究室科目（論文科目）
- ・ 学生が研究室の指導教員の確認を得たうえで、学生が自分でSIRIUS登録を行う。
- ・ 単位を付与する年次は、研究室によって違うので、何年次に履修すべきかを履修登録前に指導教員に確認すること。
- ・ 各指導教員が、所属研究室の学生にSIRIUSで成績を登録する。

● 先進学際応用情報学特別実験 / Advanced Interdisciplinary Experiment on Applied Informatics

- ・ 研究室科目（論文科目）
- ・ 学生が研究室の指導教員の確認を得たうえで、学生が自分でSIRIUS登録を行う。
- ・ 単位を付与する年次は、研究室によって違うので、何年次に履修すべきかを履修登録前に指導教員に確認すること。
- ・ 各指導教員が、所属研究室の学生にSIRIUSで成績を登録する。

学生は、自身の研究内容にあわせ、指導教員と相談のうえ、次の3科目（先進学際農学特別研究・先進学際工学特別研究・先進学際応用情報学特別研究）からいずれか1科目（4単位）を履修すること。

● 先進学際農学特別研究 / Advanced Interdisciplinary Research on Agriculture

- ・ 研究室科目（論文科目）
- ・ 学生が研究室の指導教員の確認を得たうえで、学生が自分でSIRIUS登録を行う。
- ・ 単位を付与する年次は、研究室によって違うので、何年次に履修すべきかを履修登録前に指導教員に確認すること。
- ・ 各指導教員が、所属研究室の学生にSIRIUSで成績を登録する。

● 先進学際工学特別研究 / Advanced Interdisciplinary Research on Engineering

- ・ 研究室科目（論文科目）
- ・ 学生が研究室の指導教員の確認を得たうえで、学生が自分でSIRIUS登録を行う。
- ・ 単位を付与する年次は、研究室によって違うので、何年次に履修すべきかを履修登録前に指導教員に確認すること。
- ・ 各指導教員が、所属研究室の学生にSIRIUSで成績を登録する。

● 先進学際応用情報学特別研究 / Advanced Interdisciplinary Research on Applied Informatics

- ・ 研究室科目（論文科目）

- ・学生が研究室の指導教員の確認を得たうえで、学生が自分でSIRIUS登録を行う。
- ・単位を付与する年次は、研究室によって違うので、何年次に履修すべきかを履修登録前に指導教員に確認すること。
- ・各指導教員が、所属研究室の学生にSIRIUSで成績を登録する。

○ 実践発表Ⅰ / Practical Presentation I

指導教員や副指導教員等から発表指導を受けた後に、国内外の学会において発表を行い、効果的な各種プレゼンテーション法などを身につける。同時に、論理性に基づいた的確な質疑応答の能力を養う。

- ・実践発表Ⅰ～Ⅳまで科目があるが、Ⅰから順番に単位をつける。(Ⅰを取った後、もう一度学会発表をした場合、Ⅱの単位がつく。Ⅲ以降も同様。)
- ・1回の発表につき、この科目の単位をつける。(2回発表した場合は後述するⅡの単位となる。)
- ・実践発表Ⅰ～Ⅳでは、対外的な学会に出席して発表をしたことに対して単位を付与する。先進学際カンファレンスも発表であるが、あくまで専攻内での発表である点を実践発表との違いである。
- ・学生は、SIRIUS登録不要。
- ・学生は、学会発表後、2週間以内に、(書式7) 実践発表報告書報告書(A4用紙1ページ)を basejimu@cc.tuat.ac.jp に提出する。
- ・学生は、学会発表後、2週間以内に、指導教員に①学会発表スライド、②要旨集(レジュメ)を提出し単位認定の審査を依頼する。
- ・事務は報告書を指導教員に送付し審査と成績付与の依頼をする。
- ・指導教員は、事務から送付された報告書と学生から提出された①学会発表スライド、②要旨集(レジュメ)とを見て審査および成績をつけ、事務に報告し、事務がSIRIUSに履修登録と単位の入力を行う。
- ・例えば、同じ3学期の間に学会発表を2回行った場合、同じ学期で実践発表Ⅰ・実践発表Ⅱの単位をつけるなど、同じ学期内に複数回の単位を付与することは可能である。

○ 実践発表Ⅱ / Practical Presentation II

指導教員や副指導教員等から発表指導を受けた後に、国内外の学会において発表を行い、効果的な各種プレゼンテーション法などを身につける。同時に、論理性に基づいた的確な質疑応答の能力を養う。

- ・実践発表Ⅰの履修をした学生が、実践発表Ⅱの履修をすることができる。
- ・1回の発表につき、この科目の単位をつける。(3回発表した場合は後述するⅢの単位となる。)
- ・対外的な学会に出席して発表をしたことに対して単位を付与する。先進学際カンファレンスも発表であるが、あくまで専攻内での発表である点を実践発表との違いである。
- ・学生は、SIRIUS登録不要。
- ・学生は、学会発表後、2週間以内に、(書式7) 実践発表報告書報告書(A4用紙1ページ)を basejimu@cc.tuat.ac.jp に提出する。
- ・学生は、学会発表後、2週間以内に、指導教員に①学会発表スライド、②要旨集(レジュメ)を提出し単位認定の審査を依頼する。
- ・事務は報告書を指導教員に送付し審査と成績付与の依頼をする。
- ・指導教員は、事務から送付された報告書と学生から提出された①学会発表スライド、②要旨集(レジュメ)とを見て審査および成績をつけ、事務に報告し、事務がSIRIUSに履修登録と単位の入力を行う。
- ・例えば、同じ3学期の間に学会発表を2回行った場合、同じ学期で実践発表Ⅰ・実践発表Ⅱの単位をつけるなど、同じ学期内に複数回の単位を付与することは可能である。

○ 実践発表Ⅲ / Practical Presentation III

指導教員や副指導教員等から発表指導を受けた後に、国内外の学会において発表を行い、効果的な各種プレゼンテーション法などを身に付ける。同時に、論理性に基づいた的確な質疑応答の能力を養う。

- ・ 実践発表Ⅱの履修をした学生が、実践発表Ⅲの履修をすることができる。
- ・ 1回の発表につき、この科目の単位をつける。(4回発表した場合は後述するⅣの単位となる。)
- ・ 対外的な学会に出席して発表をしたことに対して単位を付与する。先進学際カンファレンスも発表であるが、あくまで専攻内での発表である点を実践発表との違いである。
- ・ 学生は、SIRIUS登録不要。
- ・ 学生は、学会発表後、2週間以内に、(書式7) 実践発表報告書報告書 (A4用紙1ページ) を basejimu@cc.tuat.ac.jp に提出する。
- ・ 学生は、学会発表後、2週間以内に、指導教員に①学会発表スライド、②要旨集(レジュメ)を提出し単位認定の審査を依頼する。
- ・ 事務は報告書を指導教員に送付し審査と成績付与の依頼をする。
- ・ 指導教員は、事務から送付された報告書と学生から提出された①学会発表スライド、②要旨集(レジュメ)とを見て審査および成績をつけ、事務に報告し、事務がSIRIUSに履修登録と単位の入力を行う。
- ・ 例えば、同じ3学期の間に学会発表を2回行った場合、同じ学期で実践発表Ⅰ・実践発表Ⅱの単位をつけるなど、同じ学期内に複数回の単位を付与することは可能である。

○ 実践発表Ⅳ / Practical Presentation IV

指導教員や副指導教員等から発表指導を受けた後に、国内外の学会において発表を行い、効果的な各種プレゼンテーション法などを身に付ける。同時に、論理性に基づいた的確な質疑応答の能力を養う。

- ・ 実践発表Ⅲの履修をした学生が、実践発表Ⅳを履修できる。
- ・ 1回の発表につき、この科目の単位をつける。
- ・ 対外的な学会に出席して発表をしたことに対して単位を付与する。先進学際カンファレンスも発表であるが、あくまで専攻内での発表である点を実践発表との違いである。
- ・ 学生は、SIRIUS登録不要。
- ・ 学生は、学会発表後、2週間以内に、(書式7) 実践発表報告書報告書 (A4用紙1ページ) を basejimu@cc.tuat.ac.jp に提出する。
- ・ 学生は、学会発表後、2週間以内に、指導教員に①学会発表スライド、②要旨集(レジュメ)を提出し単位認定の審査を依頼する。
- ・ 事務は報告書を指導教員に送付し審査と成績付与の依頼をする。
- ・ 指導教員は、事務から送付された報告書と学生から提出された①学会発表スライド、②要旨集(レジュメ)とを見て審査および成績をつけ、事務に報告し、事務がSIRIUSに履修登録と単位の入力を行う。
- ・ 例えば、同じ3学期の間に学会発表を2回行った場合、同じ学期で実践発表Ⅰ・実践発表Ⅱの単位をつけるなど、同じ学期内に複数回の単位を付与することは可能である。

〈2〉 専門科目

- ・ 講義科目(いわゆる座学)
- ・ 各科目の内容については、SIRIUSにある「シラバス」を参照すること。
- ・ 4コースの専門科目のうち、予測情報学コースの科目は、毎年開講する。一方、資源・エネルギー科学コース、健康・福祉科学コース、食料・環境科学コースは、隔年開講である。

〈「○○○○特論Ⅰ」「○○○○特論Ⅱ」の違いについて〉

「○○○○特論Ⅰ」：1学期第1ターム（もしくは、3学期第1ターム）に開講。基礎的な内容。

「○○○○特論Ⅱ」：1学期第2ターム（もしくは、3学期第2ターム）に開講。「Ⅰ」を踏まえた
応用的・発展的な内容である。

- 「専門科目」から選択科目4単位以上（Ⅰを2単位以上、Ⅱを2単位以上、このうち自身の所属するコースからⅠもしくはⅡを1単位以上、履修すること）。

可能な例（ⅠとⅡが同じ科目名）：○○特論Ⅰ（1単位）、△△特論Ⅰ（1単位）、
○○特論Ⅱ（1単位）、△△特論Ⅱ（1単位）

計4単位

この例も可能（ⅠとⅡが違う科目名も可能）：

○○特論Ⅰ（1単位）、△△特論Ⅰ（1単位）、
××特論Ⅱ（1単位）、□□特論Ⅱ（1単位）

計4単位



いずれの例でも自身の所属するコースの科目ⅠもしくはⅡを1単位以上含むこと

〈2-1〉予測情報学コース

○ 応用計測情報学特論Ⅰ / Applied Measurement Informatics I

- ・ 毎年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
- ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

○ 応用計測情報学特論Ⅱ / Applied Measurement Informatics II

- ・ 毎年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSで履修登録をすること。
- ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

○ 生命環境情報学特論Ⅰ / Advanced Life and Environmental Informatics I

- ・ 毎年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
- ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

○ 生命環境情報学特論Ⅱ / Advanced Life and Environmental Informatics II

- ・ 毎年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
- ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

○ 人工知能応用特論Ⅰ / Advanced Artificial Intelligence Applications I

- ・ 毎年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
- ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- 人工知能応用特論Ⅱ / Advanced Artificial Intelligence Applications II
 - ・ 毎年開講
 - ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- 数理生物情報学特論Ⅰ / Advanced Mathematical and Information Biology I
 - ・ 毎年開講
 - ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- 数理生物情報学特論Ⅱ / Advanced Mathematical and Information Biology II
 - ・ 毎年開講
 - ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- 応用環境計測予測学特論Ⅰ / Advanced Application of the Environmental Measurement and Prediction I
 - ・ 毎年開講
 - ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- 応用環境計測予測学特論Ⅱ / Advanced Application of the Environmental Measurement and Prediction II
 - ・ 毎年開講
 - ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- 農業環境情報学特論Ⅰ / Advanced Agro-Environmental Informatics I
 - ・ 毎年開講
 - ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- 農業環境情報学特論Ⅱ / Advanced Agro-Environmental Informatics II
 - ・ 毎年開講
 - ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

〈2-2〉資源・エネルギー科学コース

- 物質機能設計特論Ⅰ / Advanced Functional Designing of Materials I
 - ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

隔年開講

- 物質機能設計特論Ⅱ / Advanced Functional Designing of Materials Ⅱ 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- 物質機能分析特論Ⅰ / Analysis and Functions of Materials Ⅰ 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- 物質機能分析特論Ⅱ / Analysis and Functions of Materials Ⅱ 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- 物質機能制御特論Ⅰ / Advanced Function Control of Materials Ⅰ 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- 物質機能制御特論Ⅱ / Advanced Function Control of Materials Ⅱ 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- エネルギー材料物性特論Ⅰ /
Advanced Course in Properties of Energy Harvesting Materials Ⅰ 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- エネルギー材料物性特論Ⅱ /
Advanced Course in Properties of Energy Harvesting Materials Ⅱ 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- エネルギー材料設計特論Ⅰ / Advanced Energy and Materials Design Ⅰ 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- エネルギー材料設計特論Ⅱ / Advanced Energy and Materials Design Ⅱ 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- エネルギー変換技術特論Ⅰ / Advanced Energy Conversion Technology Ⅰ 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- エネルギー変換技術特論Ⅱ / Advanced Energy Conversion Technology Ⅱ 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

- | | |
|--|------|
| ○ <u>エネルギーシステム工学特論 I / Advanced Energy Systems Engineering I</u>
・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。 | 隔年開講 |
| ○ <u>エネルギーシステム工学特論 II / Advanced Energy Systems Engineering II</u>
・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。 | 隔年開講 |

〈2-3〉健康・福祉科学コース

- | | |
|--|------|
| ○ <u>健康福祉メカニクス特論 I / Advanced Health and Welfare Mechanics I</u>
・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。 | 隔年開講 |
| ○ <u>健康福祉メカニクス特論 II / Advanced Health and Welfare Mechanics II</u>
・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。 | 隔年開講 |
| ○ <u>健康福祉センシング特論 I / Advanced Health and Welfare Sensing I</u>
・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。 | 隔年開講 |
| ○ <u>健康福祉センシング特論 II / Advanced Health and Welfare Sensing II</u>
・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。 | 隔年開講 |
| ○ <u>健康福祉バイオエレクトロニクス特論 I / Bioelectronics I</u>
・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。 | 隔年開講 |
| ○ <u>健康福祉バイオエレクトロニクス特論 II / Bioelectronics II</u>
・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。 | 隔年開講 |
| ○ <u>健康福祉コンピューティング特論 I /
Advanced Health and Welfare Computing I</u>
・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。 | 隔年開講 |
| ○ <u>健康福祉コンピューティング特論 II /
Advanced Health and Welfare Computing II</u>
・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。 | 隔年開講 |

- 健康福祉知覚認知処理特論 I / Advanced Health and Welfare Perceptual Cognitive Processing I 隔年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- 健康福祉知覚認知処理特論 II / Advanced Health and Welfare Perceptual Cognitive Processing II 隔年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- 健康福祉電気電子工学特論 I / Advanced Electrical and Electronic Engineering for Health and Welfare I 隔年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- 健康福祉電気電子工学特論 II / Advanced Electrical and Electronic Engineering for Health and Welfare II 隔年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- 健康福祉システム工学特論 I / System Engineering for Health and Welfare I 隔年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- 健康福祉システム工学特論 II / System Engineering for Health and Welfare II 隔年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

〈2-4〉 食料・環境科学コース

- 食料資源機能創製特論 I / Advanced Food and Resource Functions I 隔年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- 食料資源機能創製特論 II / Advanced Food and Resource Functions II 隔年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- 生物環境応答特論 I / Biological Responses to Environmental Conditions I 隔年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・ 授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- 生物環境応答特論 II / Biological Responses to Environmental Conditions II 隔年開講
- ・ 学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。

- ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
- 食料生産システム特論 I / Advanced Food Production Systems I 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
 - 食料生産システム特論 II / Advanced Food Production Systems II 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
 - 食料資源安全科学特論 I / Safe and Sustainable Food and Resource Management I 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
 - 食料資源安全科学特論 II / Safe and Sustainable Food and Resource Management II 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
 - 地盤環境学特論 I / Environmental Geoscience I 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
 - 地盤環境学特論 II / Environmental Geoscience II 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
 - 環境物質循環特論 I / Circular Environmental Materials I 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
 - 環境物質循環特論 II / Circular Environmental Materials II 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
 - 環境物質分析特論 I / Advanced Analysis of Environmental Materials I 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。
 - 環境物質分析特論 II / Advanced Analysis of Environmental Materials II 隔年開講
 - ・学生は、SIRIUSでの履修登録期間内にSIRIUSでの履修登録をすること。
 - ・授業担当教員がこの科目を履修した学生にSIRIUSで成績を登録する。

7 教育職員免許状の取得について

本学府に、教育職員免許法に基づいて、中学及び高等学校の教育職員免許状を取得するための課程が設置されている。(学則第67条)

この課程において定められた科目の単位を修得すれば、教育職員免許状を取得することができる。

7-1 免許状の種類及び取得に必要な単位数

(先進学際科学専攻修士課程のみ)

免許状の種類	取得に必要な単位数
中学校専修免許状(理科) 高等学校専修免許状(理科)	理科に関する科目 24 単位以上

注) 本専修免許状の取得は、上記同一の免許教科の中学教諭 1 種免許状又は高等学校教諭 1 種免許状の取得資格を有している者に限られる。

7-2 教科に関する科目

取得に必要な教科に関する科目は「学生便覧」の「教職課程について」の項を参照し、単位修得に留意すること。

7-3 その他

教育職員免許状の取得を希望する者は、P.1 に記載の事務問い合わせ先まで事前に申し出ること。
不明な点については、1 ページの問合せ先に問い合わせること。

8 大学院先進学際科学府・先進学際科学専攻・各コース担当教員

予 測 情 報 学 コ ー ス						
氏名 (職位等)	研究分野等	室 名	電 話	E-mail ※	所属研究院	副指導教員
浅田 洋平 (准教授)	農業水理学	府中3-203教室	042-367-5589	asada1994 [at] go.tuat.ac.jp	農学研究院	山下 恵 (准教授)
岩見 健太郎 (教授)	MEMS/NEMS	小金井6-307号室	042-388-7658	k_iwami	工学研究院	大島 草太 (准教授)
大島 草太 (准教授)	機械材料学	小金井9-402号室	042-388-7092	oshima [at] go.tuat.ac.jp	工学研究院	岩見 健太郎 (教授)
小山 哲史 (教授)	生態・行動メカニズム	府中8-208号室	042-367-5623	skoyama	農学研究院	鈴木 康規 (准教授)
篠原 恭介 (教授)	細胞工学・遺伝子解析	小金井10-202号室	042-388-7793	k_shino	工学研究院	福谷 洋介 (准教授)
鈴木 康規 (准教授)	病原微生物学・動物衛生学	府中4-329A号室	042-367-5775	ysuzuki [at] go.tuat.ac.jp	農学研究院	小山 哲史 (教授)
瀬戸 繭美 (准教授)	微生物反応予測・制御	府中5-202号室	042-367-5824	seto [at] go.tuat.ac.jp	農学研究院	中嶋 吉弘 (教授)
中嶋 吉弘 (教授)	環境汚染解析	府中8-101A号室	042-367-5258	nakasima	農学研究院	瀬戸 繭美 (准教授)
福谷 洋介 (准教授)	化学受容・知覚予測	小金井10-303号室	042-388-7479	fukutani	工学研究院	篠原 恭介 (教授)
堀田 政二 (教授)	画像認識・データ解析	小金井10-308B号室	042-388-7583	s-hotta	工学研究院	山田 宏樹 (准教授)
山下 恵 (准教授)	地域空間情報学	府中3-313号室	042-367-5758	meguyama	農学研究院	浅田 洋平 (准教授)
山田 宏樹 (准教授)	数理信号情報処理	小金井B-621号室	042-388-7143	k-yamada [at] go.tuat.ac.jp	工学研究院	堀田 政二 (教授)
資 源 ・ エ ネ ル ギ ー 科 学 コ ー ス						
氏名 (職位等)	研究分野等	室 名	電 話	E-mail ※	所属研究院	副指導教員
秋 澤 淳 (教授)	省エネシステム開発	小金井B-123号室	042-388-7226	akisawa	工学研究院	池上 貴志 (准教授)
池上 貴志 (准教授)	分散エネルギー管理	小金井B-129号室	042-388-7435	iket	工学研究院	秋 澤 淳 (教授)
WULED LENGGORO (教授)	微粒子工学	小金井B-224号室	042-388-7987	lenggoro	工学研究院	銭 衛華 (教授)
荻野 賢司 (教授)	太陽電池材料開発	小金井B-323号室	042-388-7404	kogino	工学研究院	富永 洋一 (教授)
銭 衛華 (教授)	資源開発・触媒技術	小金井1-115号室	042-388-7410	whqian	工学研究院	WULED LENGGORO (教授)
富永 洋一 (教授)	蓄電池・電池材料開発	小金井4-108号室	042-388-7058	ytominag	工学研究院	荻野 賢司 (教授)
花崎 逸雄 (准教授)	非線形・非平衡系	小金井14-203号室	042-388-7257	hanasaki	工学研究院	村上 尚 (教授)
村上 尚 (教授)	省エネ半導体開発	小金井1-S315号室	042-388-7035	faifai	工学研究院	花崎 逸雄 (准教授)
健 康 ・ 福 祉 科 学 コ ー ス						
氏名 (職位等)	研究分野等	室 名	電 話	E-mail ※	所属研究院	副指導教員
有馬 卓司 (教授)	数値電磁解析	小金井5-402号室	042-388-7145	t-arima	工学研究院	瀧 迅 (准教授)
石田 寛 (教授)	医療センシング技術	小金井B-130号室	042-388-7420	h_ishida	工学研究院	水内 郁夫 (教授)
古宮 嘉那子 (准教授)	機械学習・自然言語処理	小金井10-402b号室	042-388-7406	kkomiya [at] go.tuat.ac.jp	工学研究院	藤波 香織 (教授)
瀧 迅 (准教授)	数情報学	小金井5-403号室	042-388-7146	shen [at] go.tuat.ac.jp	工学研究院	有馬 卓司 (教授)
田畑 美幸 (講師)	バイオエレクトロニクス	小金井B-614号室	042-388-7147	tabata-bsr [at] go.tuat.ac.jp	工学研究院	西館 泉 (教授)
西館 泉 (教授)	生体分光計測技術	小金井B-611号室	042-388-7065	inishi	工学研究院	田畑 美幸 (講師)
藤波 香織 (教授)	インタラクティブシステム設計	小金井7-305号室	042-388-7499	fujinami	工学研究院	古宮 嘉那子 (准教授)
水内 郁夫 (教授)	ロボティクス	小金井14-206号室	042-388-7457	mizuuchi	工学研究院	石田 寛 (教授)
食 料 ・ 環 境 科 学 コ ー ス						
氏名 (職位等)	研究分野等	室 名	電 話	E-mail ※	所属研究院	副指導教員
赤井 伸行 (准教授)	環境計測技術	小金井B-329号室	042-388-7344	akain	農学研究院	中田 一弥 (教授)
梅澤 泰史 (教授)	細胞制御・環境管理	小金井B-513号室	042-388-7364	taishi	農学研究院	梶田 真也 (教授)
梶田 真也 (教授)	バイオマス材料開発	小金井B-514号室	042-388-7391	kajita	農学研究院	梅澤 泰史 (教授)
庄司 佳祐 (准教授)	RNA生物学・生物情報学	小金井B-417号室	042-388-7921	kshoji [at] go.tuat.ac.jp	農学研究院	鈴木 文詞 (教授)
鈴木 文詞 (教授)	植物ダニ学・応用昆虫学	小金井B-420号室	042-388-7278	tszk	農学研究院 (GIR)	庄司 佳祐 (准教授)
豊田 剛己 (教授)	環境微生物・土壌管理	小金井B-414号室	042-388-7915	kokit	農学研究院	橋本 洋平 (准教授)
中田 一弥 (教授)	光触媒技術開発	小金井B-330号室	042-388-7767	nakata [at] go.tuat.ac.jp	農学研究院 (GIR)	赤井 伸行 (准教授)
橋本 洋平 (准教授)	地盤環境学	小金井B-413号室	042-388-7276	yhashim	農学研究院	豊田 剛己 (教授)

コースごとに五十音順

E-mailで [at] となっている箇所は、@に変更ください。

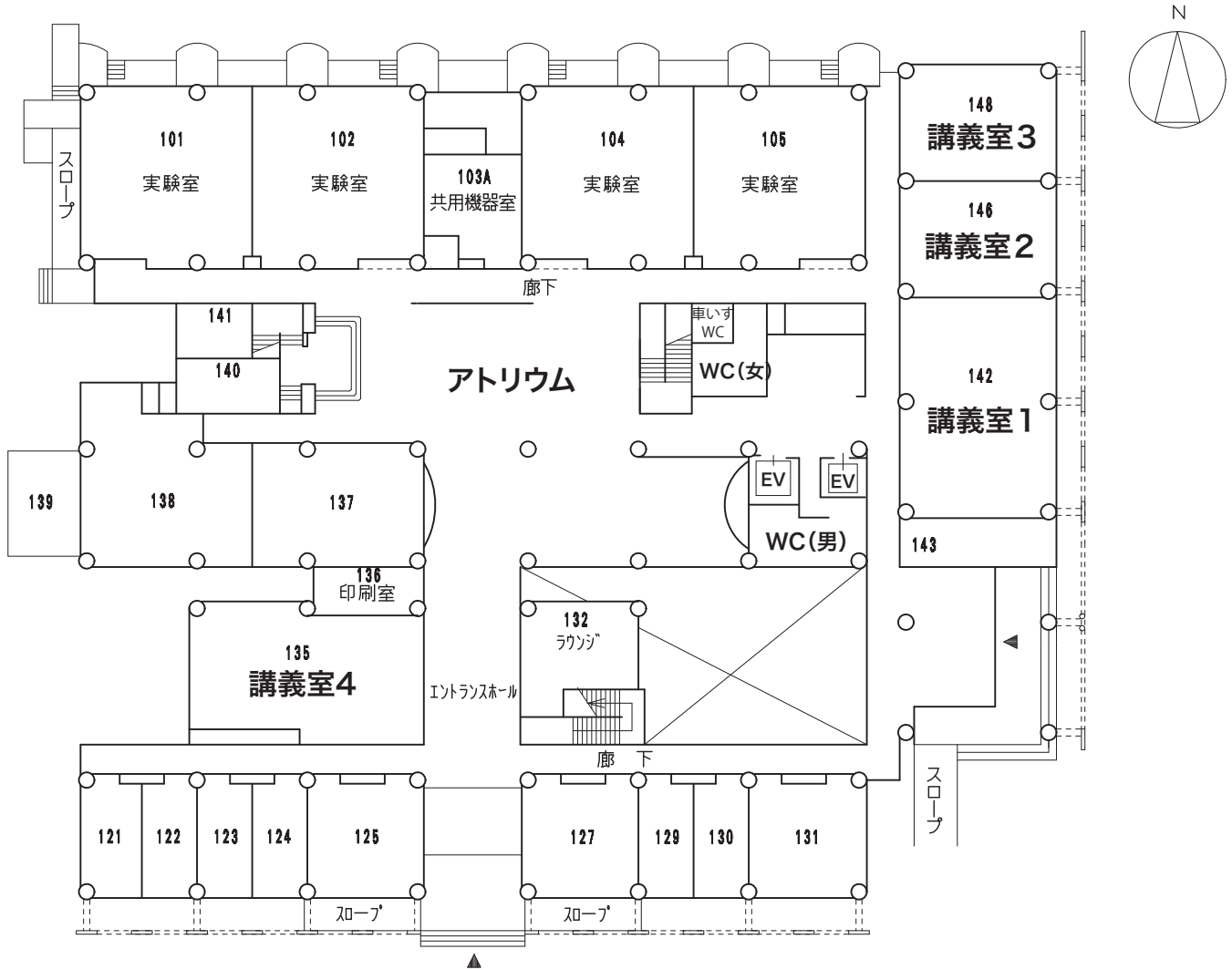
※E-mailに@以降がないものは、すべて @cc.tuat.ac.jp をつけて送信する。

「小金井 B-」BASE 本館を指す。(2026年1月時点)

9 キャンパス配置図

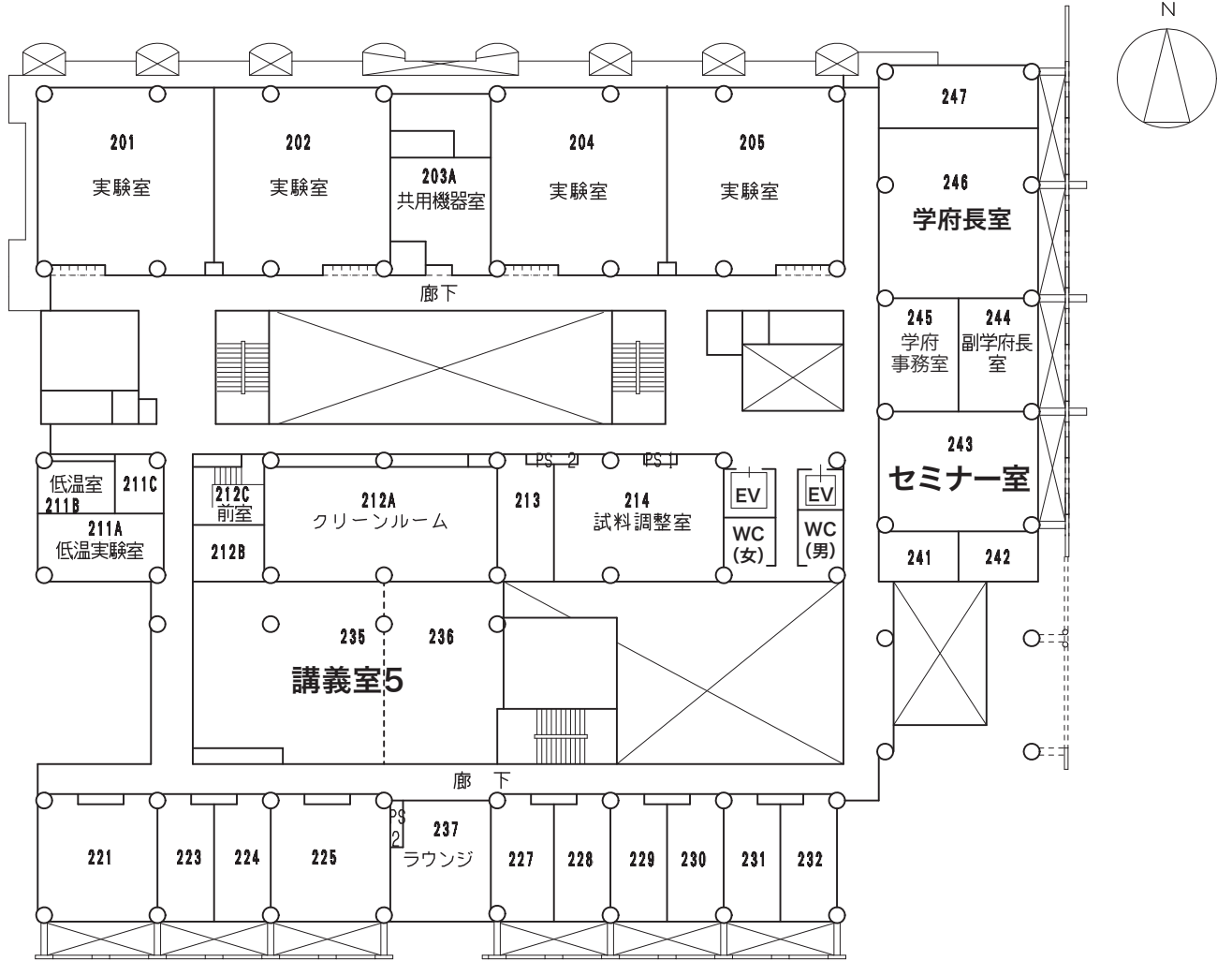
BASE 本館配置図

■ 1階



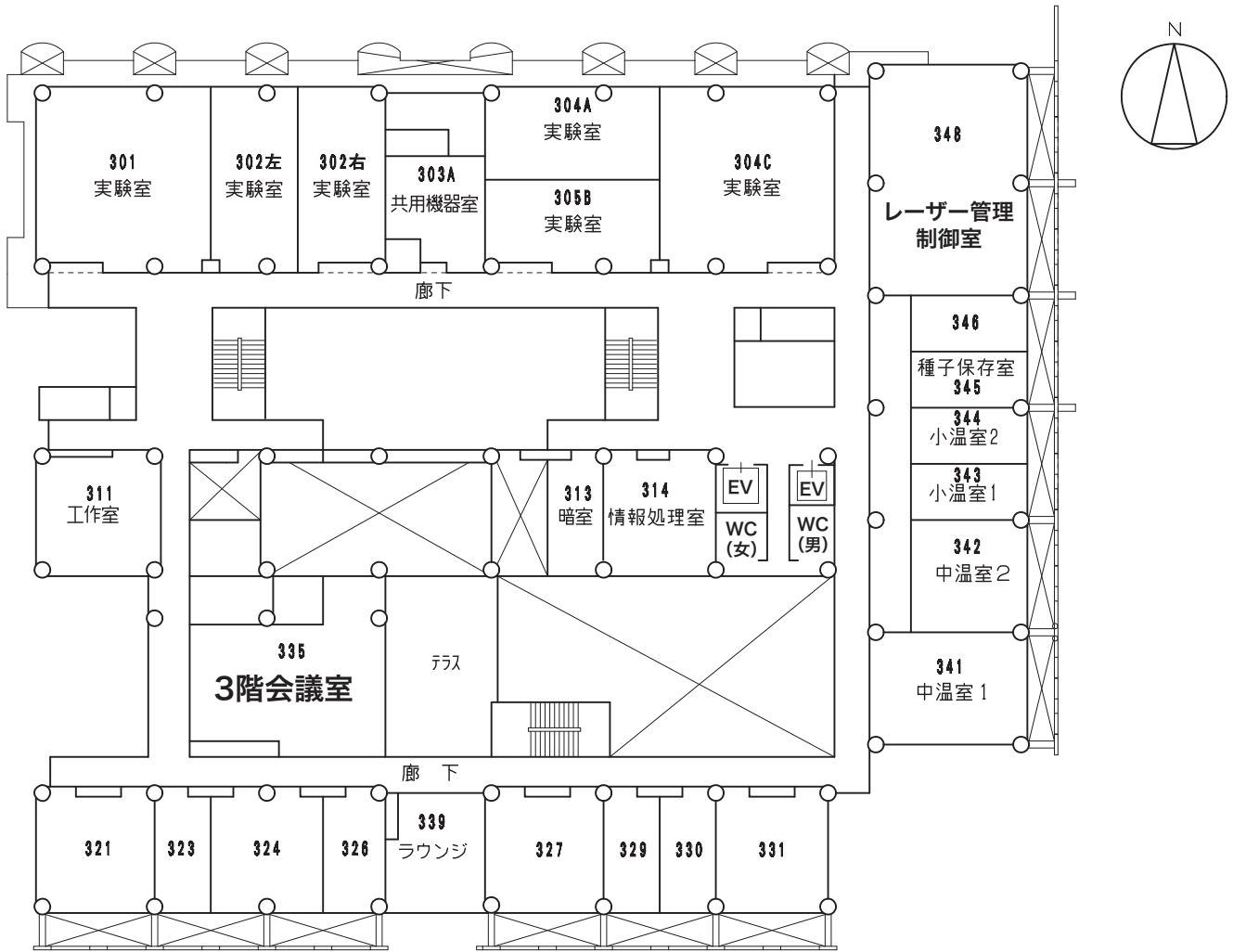
BASE 本館配置図

■ 2階



BASE 本館配置図

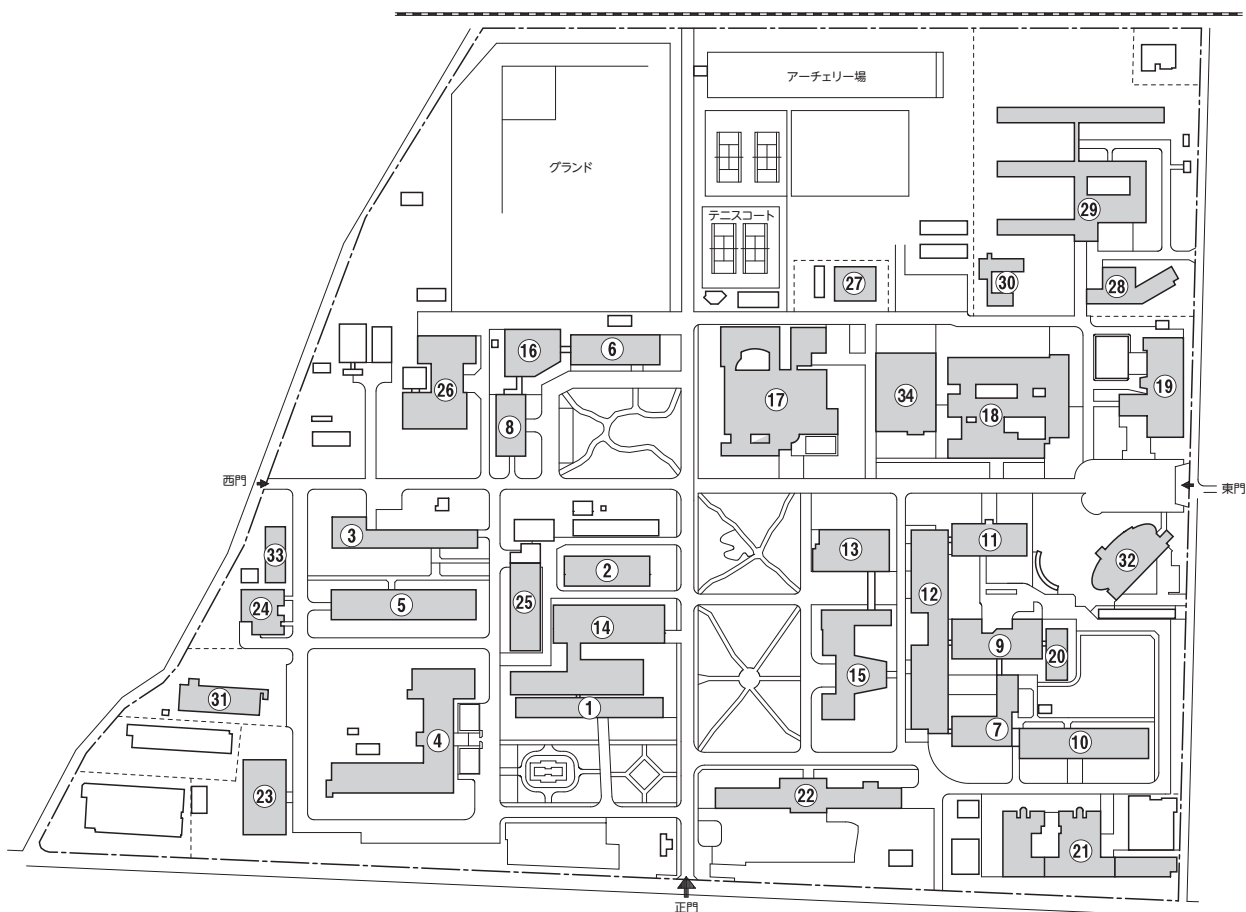
■ 3階



小金井キャンパス配置図

建物配置図

- 小金井地区
(小金井市中町)



- ① 1号館
- ② 2号館
- ③ 3号館
- ④ 4号館
- ⑤ 5号館 (機器分析施設)
- ⑥ 6号館
- ⑦ 7号館
- ⑧ 8号館
(総合情報メディアセンター)
- ⑨ 9号館
- ⑩ 10号館
- ⑪ 11号館
- ⑫ 12号館
- ⑬ 13号館
- ⑭ 新1号館
- ⑮ 工学部講義棟
- ⑯ 14号館
- ⑰ 小金井図書館

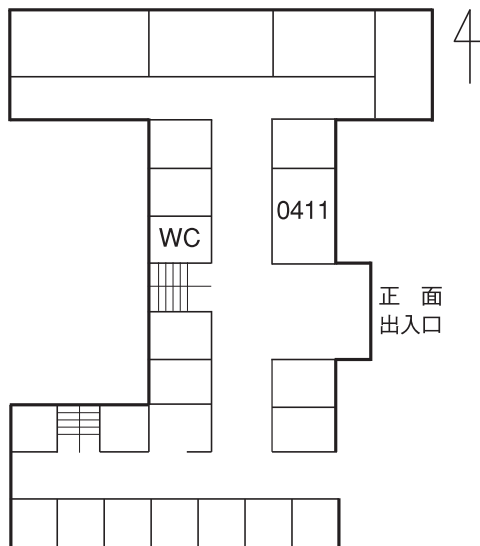
- ⑱ BASE 本館
- ⑲ 工学部総合会館
- ⑳ CAD/CAM 実習棟
- ㉑ 先端産学連携研究推進センター
- ㉒ 科学博物館
- ㉓ 先端科学実験棟
- ㉔ 環境管理施設
- ㉕ ものづくり創造工学センター
- ㉖ 小金井体育館
- ㉗ 工学部RI 研究施設
- ㉘ 小金井国際交流会館
- ㉙ 榊寮 (男子寮)
- ㉚ 桜寮 (女子寮)
- ㉛ 小金井第2 宿舍 (職員宿舍)
- ㉜ 140周年記念会館 (エリブス)
- ㉝ 次世代キャパシタ研究センター
- ㉞ 管理棟 (愛称: CUBE)
保健管理センター

小金井キャンパス講義室

4号館	1階	L0411	12号館	1階	L1211～L1217
6号館	2階	製図室	13号館	2階	L1321～L1322
	3階	L0631		3階	L1331～L1332
7号館	1階	L0711	講義棟	1階	L0011～L0017
	3階	PC教室(3K)		2階	L0021～L0026
	4階	PC教室(4K)		3階	L0031～L0035
8号館	1階	L0811、eラーニング受講室	BASE	1階	講義室1～3
	2階	L0821	管理棟	1階	教務第一係、教務第二係
	3階	L0831			学生生活係、入学試験係
11号館	1階	L1111～L1114			保健管理センター
	5階	L1151～L1153		2階	非常勤講師室

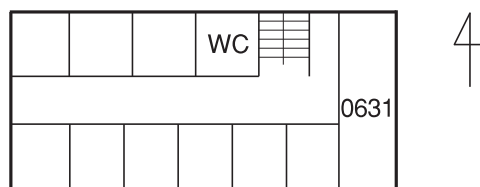
【4号館】

1階

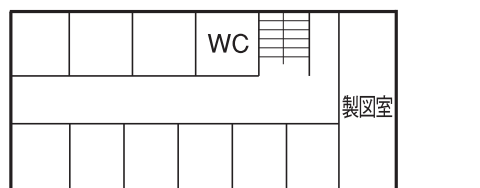


【6号館】

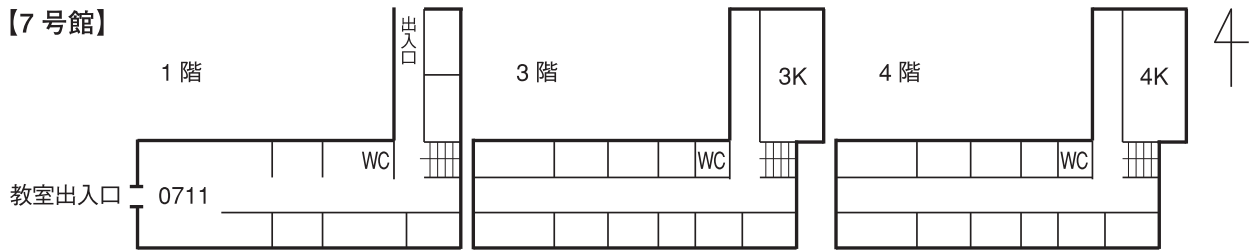
3階



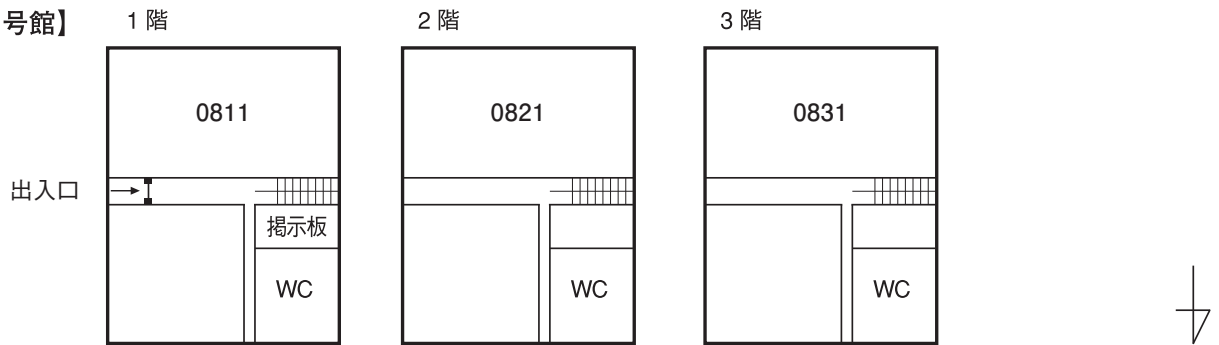
2階



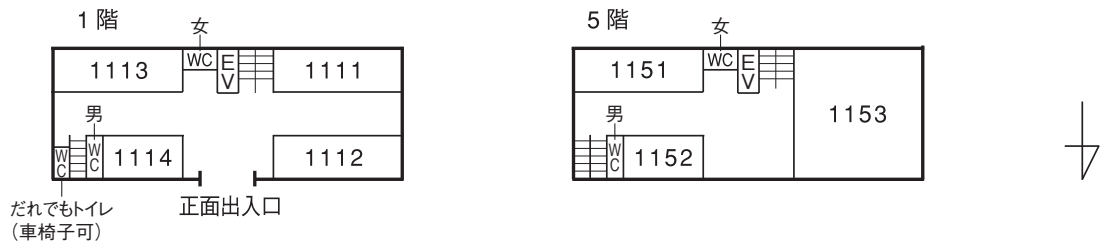
【7号館】



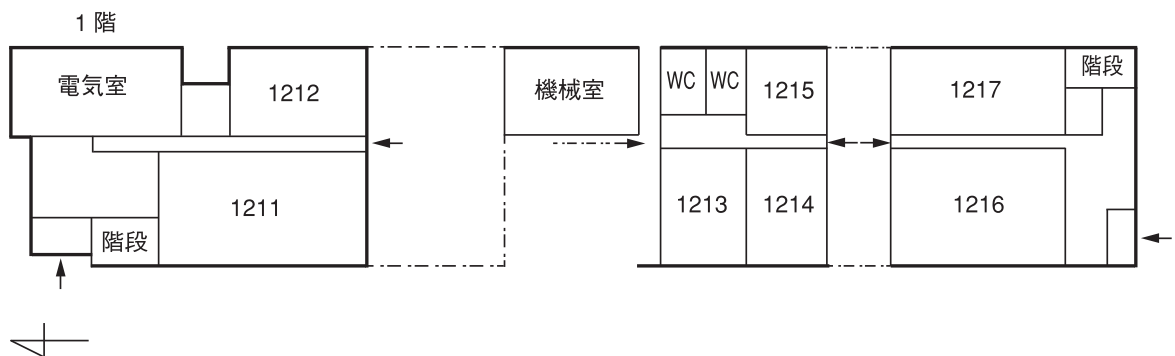
【8号館】



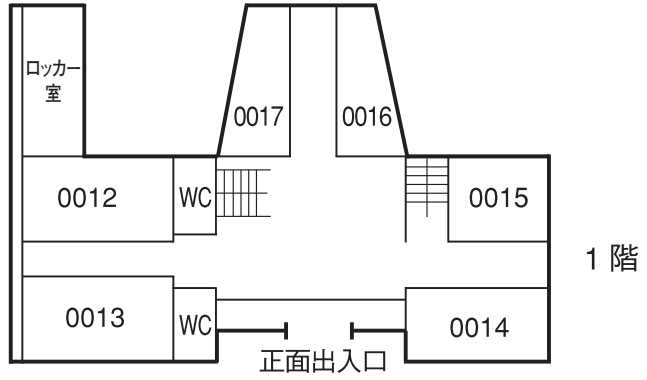
【11号館】



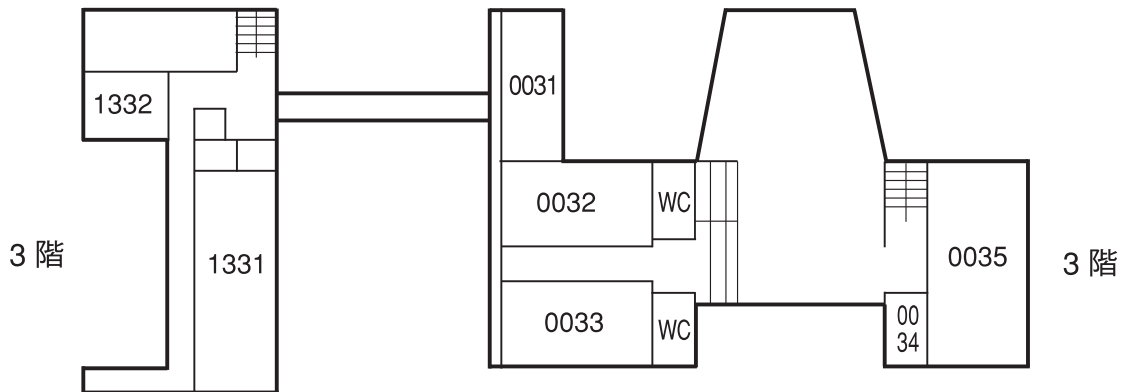
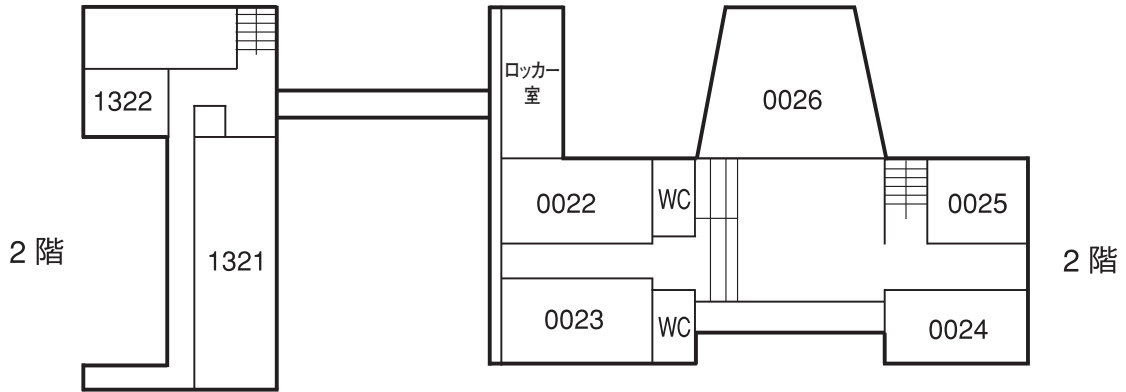
【12号館】



【講義棟】



【13号館】

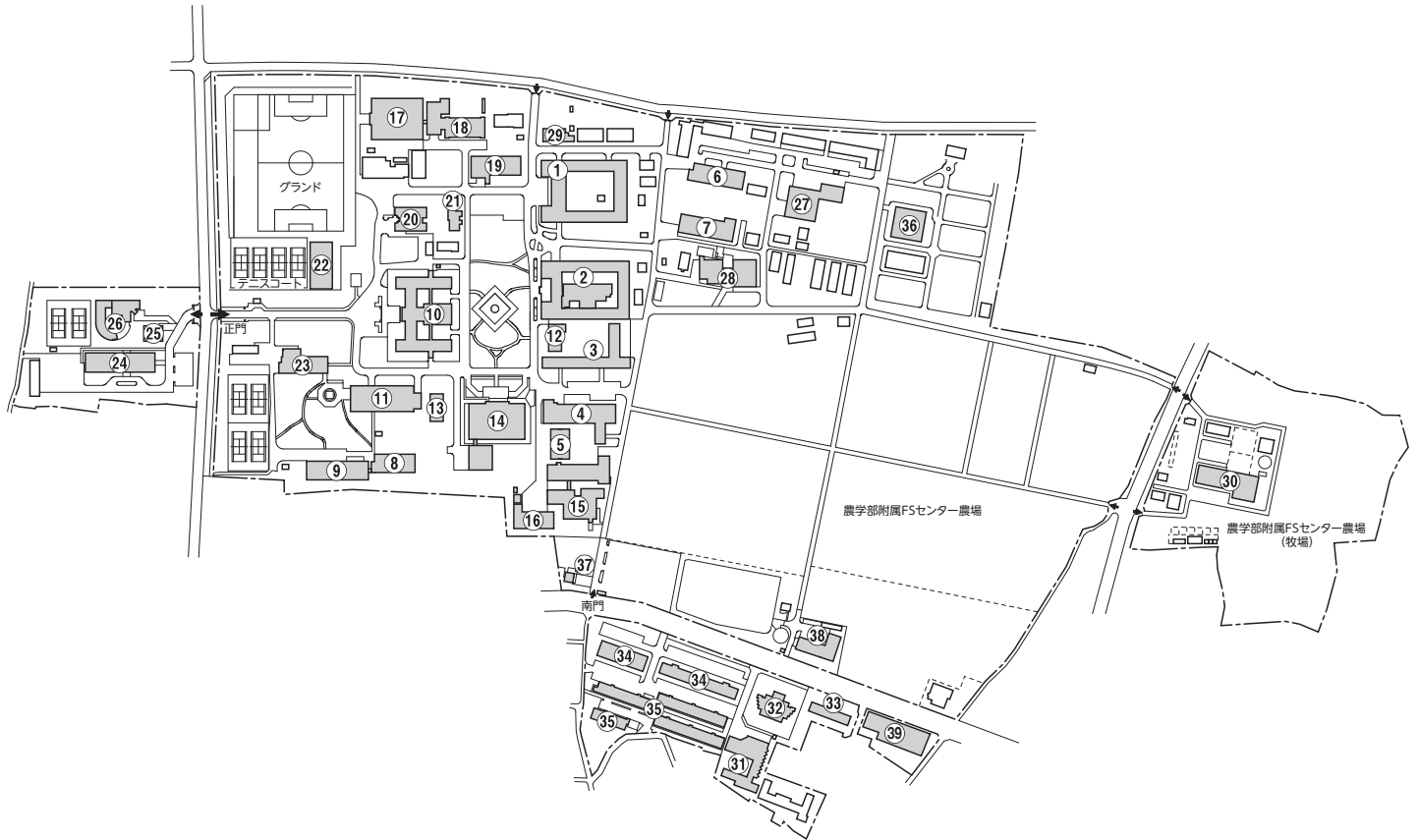


府中キャンパス配置図

建物配置図

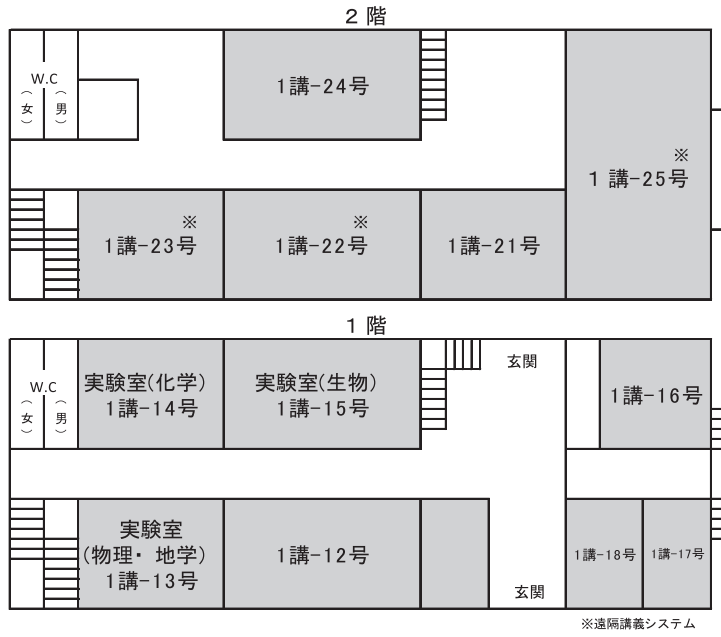
■ 府中地区

(府中市晴見町・幸町)

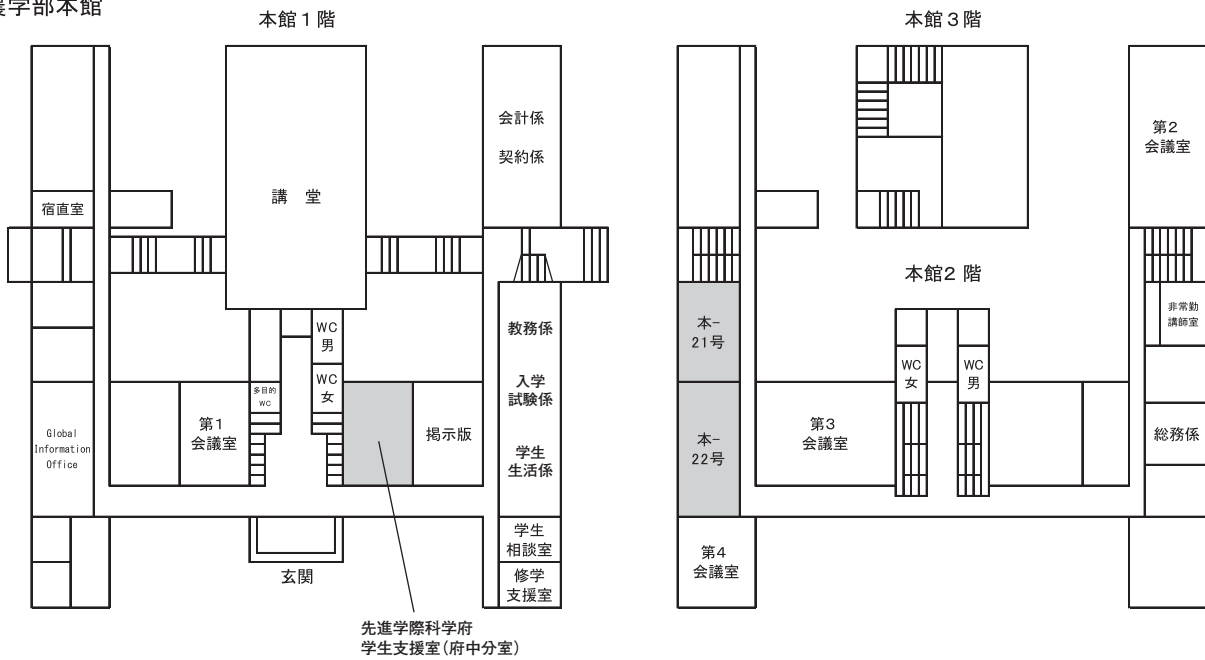


- | | | |
|-------------------|-------------------------------|----------------|
| ① 1号館 | ⑳ 大学院連合農学研究科
管理研究棟 | ㉿ 農工夢市場 |
| ② 2号館・新2号館 | ㉑ 府中先進学際科学府棟 | ㊿ 厩舎 |
| ③ 3号館 | ㉒ 運動場附属施設 (ゴルフ練習場) | ㊾ 檜寮 (男子寮・女子寮) |
| ④ 4号館 | ㉓ 本部 (学務部)・グローバル教育院 | |
| ⑤ 新4号館 | ㉔ 本部管理棟 | |
| ⑥ 5号館 | ㉕ 保健管理センター | |
| ⑦ 6号館 | ㉖ 武蔵野荘・50周年記念ホール | |
| ⑧ 7号館 | ㉗ 広域都市圏フィールドサイエンス
教育研究センター | |
| ⑨ 8号館 | ㉘ 遺伝子実験施設 | |
| ⑩ 農学部本館 (科学博物館分館) | ㉙ 農学部RI 実験研究室 | |
| ⑪ 農学部第1講義棟 | ㉚ 乳牛舎 | |
| ⑫ 農学部第2講義棟 | ㉛ 府中国際交流会館 | |
| ⑬ 語学演習棟 | ㉜ 楓寮 (女子寮) | |
| ⑭ 府中図書館 | ㉝ 府中第2 宿舎 (職員宿舎) | |
| ⑮ 動物医療センター | ㉞ 府中幸町宿舎 (職員宿舎) | |
| ⑯ 硬蛋白質利用研究施設 | ㉟ 府中第4 宿舎 (職員宿舎) | |
| | ㊿ 先進植物工場研究施設 | |

農学部第1講義棟

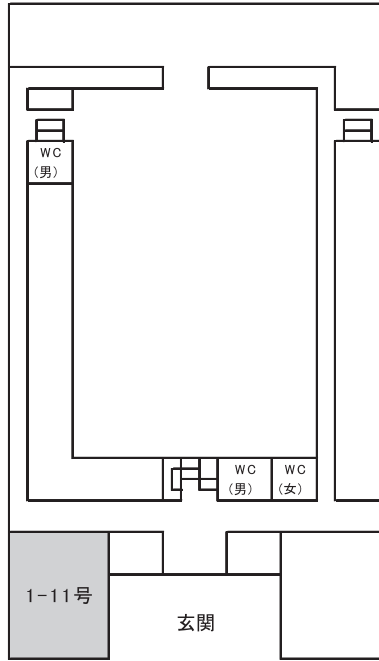


農学部本館



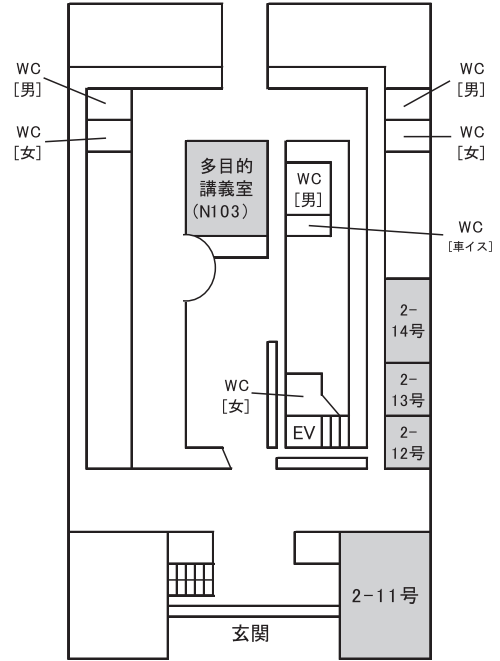
1号館

1号館1階

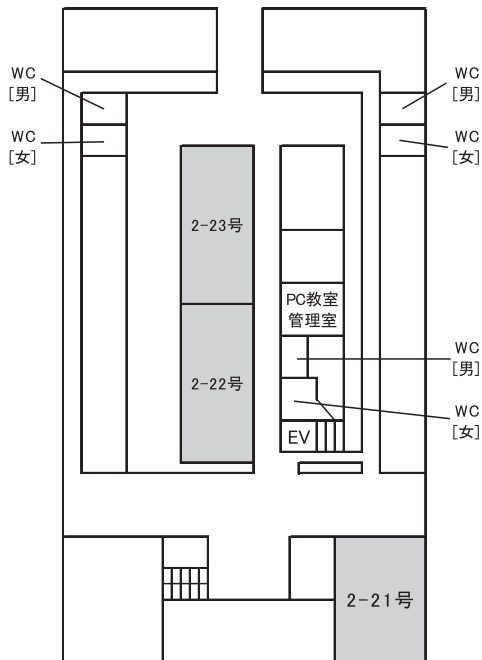


2号館

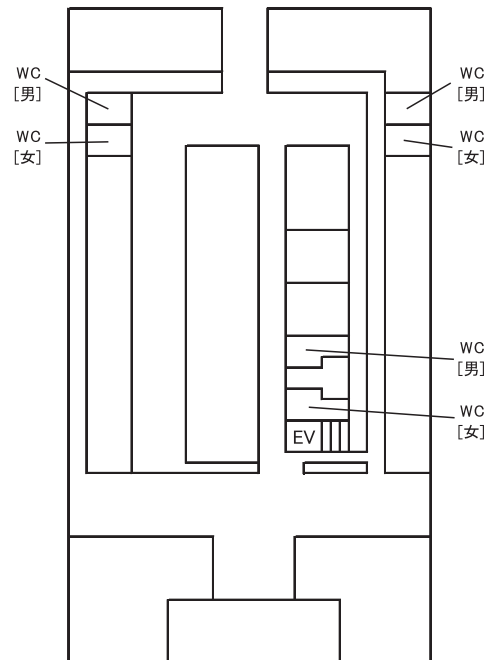
2号館1階



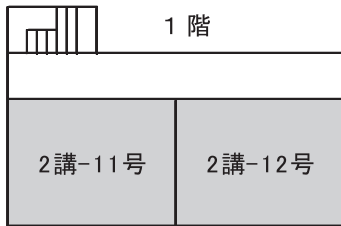
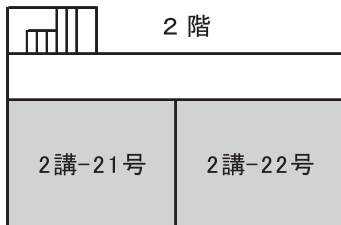
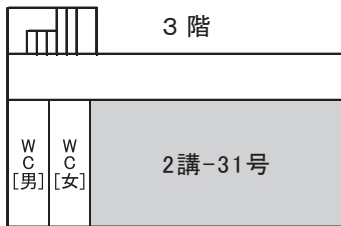
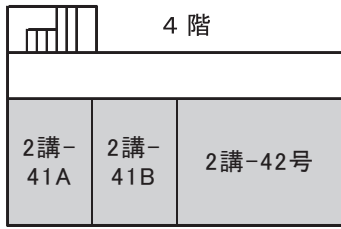
2号館2階



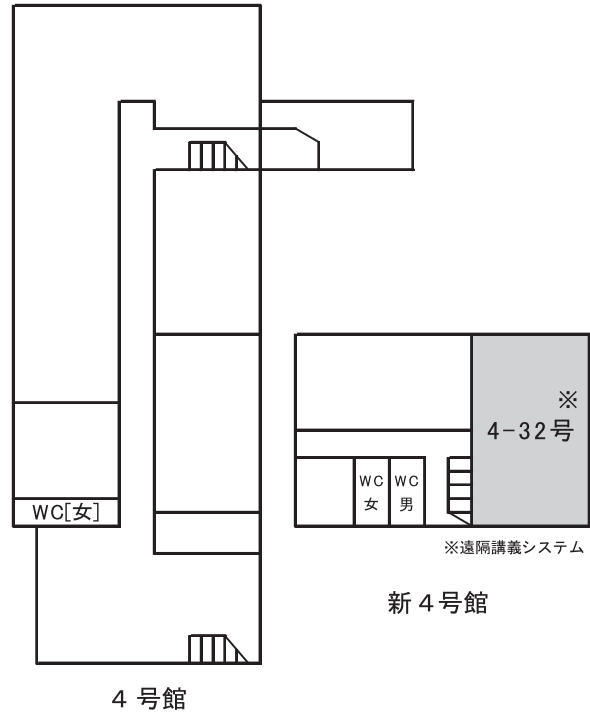
2号館3階



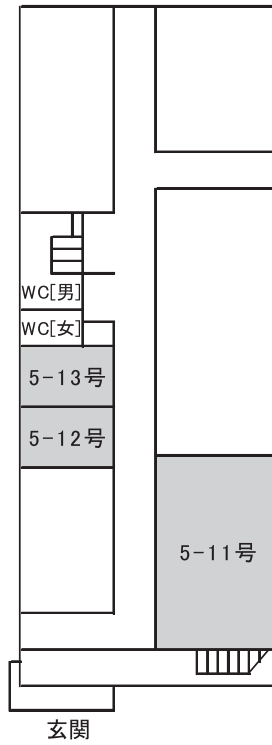
農学部第2講義棟



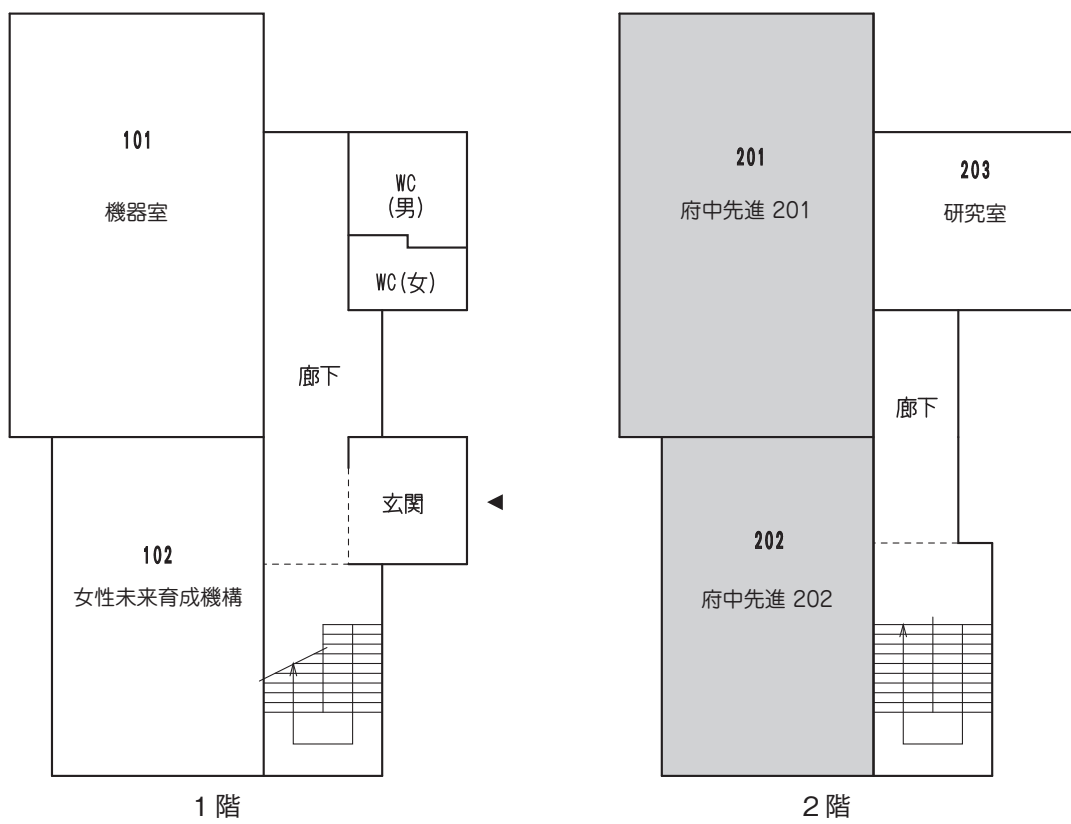
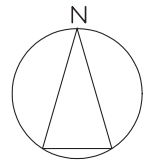
4号館、新4号館



5号館1F



府中先進学際科学府棟



201・202室に関する問い合わせ先：農学部本館1階 学生支援室（府中分室）
(f-sengak@m2.tuat.ac.jp)

